

# SHOWA UNIVERSITY NEWS

7

JUL. 2023

昭和大学新聞

通巻 第614号 (奇数月発行)

## 第13回 学祖祭を挙行 上條奨学賞・上條最優秀論文賞などを表彰



2 Special Feature

第13回学祖祭を挙

上條奨学賞、上條最優秀論文賞、  
昭和大学奨学・研究奨励基金研究者、  
昭和大学学業成績優秀賞の表彰

6 Press Release

日本人特有のBRCA2遺伝子の病的バリエーションを発見  
乳癌・卵巣癌に対し、ゲノム情報に基づく  
個別化医療の実践に期待

世界初！アルツハイマー病の新規治療薬  
レカネマブの作用機序の一端を解明  
神経変性疾患のさらなる治療薬開発に貢献

精神疾患患者を対象に、医療用音声メモアプリ  
による服薬支援の共同研究を開始

9 News & Topics

看護専門学校戴帽式  
特別奨学生・シンシアー奨学生採用式  
父兄会総会 春期公開講座 ほか

16 Student Life

[学部4年から博士を目指す]  
昭和大学には「MDプログラム」がある！  
[学生たちのリアルな声を紹介]  
学内アルバイトで新しい私、新しい一歩

20 Database

私立大学等経常費補助金交付状況  
卒業生の進路状況 寄贈図書  
決算の概要 科学研究費助成事業交付内定  
大学院入試要項

24 Meeting Report (学内会議報告)

26 Information

昭和大学学業成績優秀賞

昭和大学学業成績優秀賞は、学部および看護専門学校学生の成績優秀者の学業に対する努力をたたえ、学生の学習意欲を喚起することを目的として平成27年12月に制定された。前年度の学業成績が極めて優秀で、人物的にも非常に優れていると判断された学生をそれぞれ1名ずつ選出する制度で、今年度は右の学生が表彰された。

|            |           |               |                      |          |
|------------|-----------|---------------|----------------------|----------|
|            | 2年 棚井 聖麗  | 2年 山本 千衣里     |                      | 2年 針谷 美里 |
|            | 3年 和田 恵都  | 3年 八方 悠       |                      | 3年 井貝 葵  |
| <b>医学部</b> | 4年 松本 泰輔  | <b>薬学部</b>    | 4年 中道 万結             |          |
|            | 5年 金浜 七海  |               | 5年 青木 誠太郎            |          |
|            | 6年 二見 陽平  |               | 6年 須原 沙緒里            |          |
|            | 2年 末木 佐和子 |               | 2年 矢野 愛菜<br>(看護学科)   |          |
|            | 3年 古川 安央  | <b>保健医療学部</b> | 3年 小口 舞子<br>(作業療法学科) |          |
| <b>歯学部</b> | 4年 古川 愛梨  |               | 4年 藤原 葵<br>(作業療法学科)  |          |
|            | 5年 村寄 智仁  |               |                      |          |
|            | 6年 赤池 宏太  |               |                      |          |

# 約540名が出席し盛況を博する 学祖祭で49名の優秀者を表彰

6月4日、第13回学祖祭を上條記念館で挙行し、学祖・上條秀介博士の親族、法人役員、同窓生、職員、学生など約540名が出席した。

同日午前、式典前に小口勝司理事長をはじめ法人役員と関係者は、多磨霊園（東京都府中市）を訪れ、参列者一同で黙祷を捧げ、本学の事業が順調であることを上條秀介博士の墓前に報告した。

その後、昭和大学管弦楽団の前奏で学祖祭が開式、久光正学長が挨拶を述べ、昭和大学上條奨学賞、昭和大学上條最優秀論文賞、昭和大学奨学・研究奨励基金研究者の表彰、昭和大学学業成績優秀賞の表彰が行われた。（各賞の表彰者は右および下のとおり）

続いて、小口勝司理事長が「学校法人昭和大学運営方針」と題し、新型コロナウイルス感染症に関する対応や活性化推進委員会活動等、令和4年度における本学の活動実績について報告した。また、キャンパス整備計画や藤が丘病院再整備計画等、将来計画の具体的な施策について説明がされた。

その後、懇親会を開会し、昭和大学メディカルオールスターズ（MAS）による演奏、昭和大学応援指導部による演舞、そして久光正学長と上條メモリアル合唱団による昭和大学応援歌が披露された。



1 挨拶：久光正学長 2 表彰：上條奨学賞ほか 3 講演：小口勝司理事長 4 校歌斉唱 5 懇親会での演舞：応援指導部

昭和大学上條奨学賞

昭和大学上條奨学賞は、上條秀介博士の還暦記念（昭和28年12月22日）の折に、上條博士からいただいたご寄付を奨学基金とし、昭和31年から表彰が始まった。研究業績ならびに教育功績の2部門からなり、各学部、富士吉田教育部および学長からの推薦により、今年度は9名の受賞者が選出された。

研究業績部門

| 学部            | 課題                                                             | 受賞者                                |
|---------------|----------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| <b>医学部</b>    | 膵臓がんにおける適切な治療標的抗原の探索、固形がんにおける免疫チェックポイント阻害薬に対する新規治療予測バイオマーカーの探索 | 医学部内科学講座腫瘍内科学部門 講師 大熊 遼太郎          |
| <b>歯学部</b>    | 硬組織と脂質代謝機構の関係解明                                                | 歯学部歯学教育講座 教授 坂井 信裕                 |
| <b>薬学部</b>    | 炎症性疾患における薬物動態関連タンパク質の発現変動                                      | 薬学部基礎医療薬学講座毒物学部門 准教授 芦野 隆          |
| <b>保健医療学部</b> | 高齢者における素早い立ち上がり後のふらつき要因の検討                                     | 保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 准教授 上條 史子 |

教育功績部門

| 学部             | 課題                          | 受賞者                               |
|----------------|-----------------------------|-----------------------------------|
| <b>医学部</b>     | コロナ禍における臨床実習実施体制の構築         | 医学部内科学講座呼吸器アレルギー内科学部門 教授 相良 博典    |
| <b>歯学部</b>     | 本学歯学部における共用試験歯学系OSCEの展開     | 歯学部歯科補綴学講座顎関節症治療学部門 教授 菅沼 岳史      |
| <b>薬学部</b>     | 薬学生の社会性を育む教育方略の導入と実践        | 薬学部基礎医療薬学講座薬剤学部門 准教授 原田 努         |
| <b>保健医療学部</b>  | 理学療法学・作業療法学統合カリキュラムの構築      | 保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻 教授 作田 浩行 |
| <b>富士吉田教育部</b> | コロナ禍における寮運営、寮管理に対する先駆的な取り組み | 富士吉田教育部 教授 萩原 康夫                  |

昭和大学上條最優秀論文賞

昭和大学上條最優秀論文賞は、上條秀介博士からのご寄付を奨学基金として、本学研究者の研究活動を促進することを目的に、令和2年に制定された。今年度は、唾液腺分泌障害に対する再生医療や唾液腺疾患解析、創薬スクリーニングの有用なツールとなることが期待される唾液腺オルガノイドをヒトiPS細胞から作製することに成功した田中準一講師と美島健二教授が表彰された。

| 筆頭著者および責任著者                                                                                      | 論文名および掲載誌                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 筆頭著者/<br>歯学部 口腔病態診断科学講座<br>口腔病理学部門<br>講師 田中 準一<br>責任著者/<br>歯学部 口腔病態診断科学講座<br>口腔病理学部門<br>教授 美島 健二 | 論文名/<br>Human induced pluripotent stem cell-derived salivary gland organoids model SARS-CoV-2 infection and replication.<br>掲載誌/<br>Nature cell biology 2022 Nov; 24(11): 1595-1605<br>doi: 10.1038/s41556-022-01007-6.<br>インパクトファクター 28.213 |

昭和大学奨学・研究奨励基金研究者表彰

昭和大学奨学・研究奨励基金は、本学の学術研究の将来を担う活力ある若手研究者を育成するため、専任教育職員および大学院生の優れた学術研究に対して奨励金を給付するものである。対象となる活動は、学術研究諸活動と海外留学諸活動に区分されており、今年度は表のとおり選出された。

学術研究諸活動 15件（申請件数 27件） 給付総額：6,570,000円

| 学部                | 所属                       | 職名         | 氏名    | 研究課題                                   |
|-------------------|--------------------------|------------|-------|----------------------------------------|
| 1 <b>医学部</b>      | 内科学講座<br>糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 | 助教         | 八島 広典 | 糖尿病モデルApoEマウスへの終末糖化産物アプタマーの治療応用        |
| 2 <b>医学部</b>      | 内科学講座<br>脳神経内科学部門        | 助教<br>(医科) | 井藤 尚仁 | αシヌクレインプロトフィブリンによる神経細胞傷害機序の解明          |
| 3 <b>医学部</b>      | 外科学講座<br>乳癌外科学部門         | 助教         | 永田 彩  | 乳癌における血中エンドカン測定によるリキッドバイオプシーとしての可能性の検討 |
| 4 <b>医学部</b>      | 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座            | 助教<br>(医科) | 甘利 泰伸 | 鼓膜の再生と外耳道細菌叢やその代謝産物との関連の検討             |
| 5 <b>医学部</b>      | 小児科学講座<br>小児内科学部門        | 助教         | 唐渡 諒  | 健康児における尿中8-OHDG/クレアチニン比の測定と基準値の設定      |
| 6 <b>医学部</b>      | 小児科学講座<br>小児内科学部門        | 助教         | 山本 和也 | ケトン性低血糖症が血清カルニチン動態に及ぼす影響に関する検討         |
| 7 <b>歯学部</b>      | 歯科補綴学講座<br>歯科補綴学部門       | 助教         | 原 真央子 | 補綴治療から考える健康寿命延伸への貢献                    |
| 8 <b>歯学部</b>      | 口腔外科学講座<br>顎顔面口腔外科学部門    | 助教         | 栗原 舞  | 低酸素環境下における骨細胞の調整機構の探索                  |
| 9 <b>歯学部</b>      | 口腔健康管理学講座<br>口腔健康管理学部門   | 助教         | 内田 淑喜 | COVID-19対応型・口腔機能低下症スクリーニングシートの開発       |
| 10 <b>歯学部</b>     | 口腔健康管理学講座<br>口腔健康管理学部門   | 助教<br>(歯科) | 向井 友子 | 三次元シミュレーションによる義歯設計は臨床応用できるか？           |
| 11 <b>薬学部</b>     | 基礎医療薬学講座<br>生理学部門        | 助教         | 中野 僚太 | 関節炎モデルマウスを用いた関節炎による慢性疼痛の継世代影響の解明       |
| 12 <b>薬学部</b>     | 臨床薬学講座<br>臨床病態学部門        | 助教         | 高橋 玲  | 乾癬におけるDLL4発現単球由来ランゲルハンス細胞様樹状細胞の役割の解明   |
| 13 <b>薬学部</b>     | 病院薬剤学講座                  | 助教<br>(薬科) | 佐野 瑞季 | クマザサルカリ抽出液による急性腎障害の治療講座と作用メカニズムの解明     |
| 14 <b>薬学部</b>     | 病院薬剤学講座                  | 助教         | 岡田 貴裕 | がん治療関連静脈血栓症患者における抗がん薬の使用実態と予後に関する検討    |
| 15 <b>臨床薬理研究所</b> | 臨床免疫腫瘍学                  | 助教         | 馬場 勇太 | 造血器腫瘍細胞におけるNKG2D/NKG2Dを介した抗腫瘍免疫機構の解析   |

海外留学諸活動 3件（申請件数 4件） 給付総額：3,000,000円

| 学部           | 所属                | 職名 | 氏名    | 研究課題                                           |
|--------------|-------------------|----|-------|------------------------------------------------|
| 1 <b>医学部</b> | 小児科学講座<br>小児内科学部門 | 助教 | 上條 香織 | 変形性膝関節症における膝蓋下脂肪体の乳酸産生が軟骨細胞壊死および膝関節疼痛へ与える影響の解明 |
| 2 <b>医学部</b> | 内科学講座<br>腎臓内科学部門  | 助教 | 金澤 伸洋 | 急性腎障害におけるプロテオスタシス調整機構の解明                       |
| 3 <b>医学部</b> | 整形外科科学講座          | 助教 | 土谷 弘樹 | 脊椎疾患におけるHounsfield unit値を用いた骨密度評価              |

### 膵臓がんにおける適切な治療標的抗原の探索、固形がんにおける免疫チェックポイント阻害薬に対する新規治療予測バイオマーカーの探索



医学部  
内科学講座腫瘍内科学部門  
講師 大熊 遼太郎

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、誠に光栄に存じます。角田卓也教授をはじめ、関係者の皆様に深く御礼申し上げます。がん免疫療法は大きな飛躍を遂げましたが、効果を発揮しにくい患者さんがいるなど課題もあります。その課題を解決すべく、治療標的抗原の探索や免疫チェックポイント阻害薬のバイオマーカーを研究して参りました。今後は新規がん免疫療法

の開発を最終目標として、研究を進めていきたいと考えています。現在フランスへ留学の機会を頂いておりますが、一つでも多くの経験を積み、帰国後、昭和大学に還元できるよう全力を尽くす所存です。そして、がん患者さんに研究成果をお届けできる日が来るように、本受賞の名誉に恥じぬよう研鑽を積んで参りたいと思います。

### 硬組織と脂質代謝機構の関係解明



歯学部  
歯学教育学講座  
教授 坂井 信裕

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。今回の受賞に際し、前所属である歯科薬理学講座の高見正道教授をはじめ、共同研究に関わって頂きました先生方、関係各位に心より感謝と御礼申し上げます。

これまで脂質異常症において、食事の脂質とコレステロールが骨代謝への影響を及ぼすことを示唆し

た詳細な報告は、ほとんどありませんでした。本研究はマウスの餌に含まれる脂質とコレステロール量の割合によって、硬組織である骨と歯の恒常性維持に異なる影響を及ぼすことを明らかにしました。今後は骨代謝と生活習慣病との関係解明の追求と、昭和大学の発展のために邁進していく所存です。

### 炎症性疾患における薬物動態関連タンパク質の発現変動



薬学部  
基礎医療薬学講座毒物学部門  
准教授 芦野 隆

この度は大変名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。ひとえに恩師の方々をはじめ、本研究遂行のためにお力添えいただきました多くの薬学部学生の皆さんのおかげと厚く御礼申し上げます。

医薬品の体内動態を予測し血中濃度を適切にコントロールすることは、薬物治療の成功を左右する重要な要素となります。本研究は、炎症性疾患をターゲ

ットに炎症性サイトカインによる薬物動態関連タンパク質の発現制御メカニズムを明らかにしたものであり、病態下における薬物動態の予測に有用であると考えております。

今回の受賞に甘んじることなく、今後も昭和大学の医学・薬学研究の発展のために精進して参りますので、何卒よろしく御礼申し上げます。

### 高齢者における素早い立ち上がり後のふらつき要因の検討



保健医療学部  
リハビリテーション学科  
理学療法専攻  
准教授 上條 史子

この度は大変名誉ある上條奨学賞を賜り誠に光栄に存じます。ご助言ご指導いただいた先生方、ならびにご協力いただいた被験者さんには心より厚く御礼申し上げます。

私は三次元動作解析システムを用いてヒトの動きを分析し、その特徴から日常生活に困難さを抱えている方達のリハビリテーションに活かせるポイントを探って

おります。昨今、AIの進歩により大がかりな計測装置を使わなくとも動作解析ができるようになってきています。新しい情報を取り入れながら、リハビリテーション対象者の動作の向上に少しでも貢献できるよう、日々研鑽を積んでまいります。今後ともご指導のほど、何卒よろしく御礼申し上げます。

### コロナ禍における臨床実習実施体制の構築

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄であり厚く御礼申し上げます。今回の受賞は、新型コロナウイルス感染症のパンデミック下における教育体制を如何に運用していくべきか、大学及び病院全体をあげて、その方向性を模索して出した結果の集合体だと思います。感染対策をしながら、少しでも学生の教育に支障がないように、また病院実習がスムーズにいく

ように対応及び対策の議論を継続して行いました。特に病院実習は学生が座学から直接患者さんに接する臨床現場へ入っていく貴重な場面です。多少、立ち止まる場面はありましたが柔軟な対応ができていていると思っています。今後も昭和大学の更なる向上にむけ邁進する所存ですので、宜しくお願い申し上げます。



医学部  
内科学講座  
呼吸器アレルギー内科学部門  
教授 相良 博典

### 本学歯学部における共用試験歯学系OSCEの展開

この度は大変名誉ある上條奨学賞を賜り誠に光栄に存じます。また、小口勝司理事長、久光正学長をはじめ歯学部教授会の皆様のご理解とご協力のおかげであり心より感謝申し上げます。私はOSCE委員会発足後から現在まで23年所属し、2008年まで副委員長、2009年から現在まで14年間委員長を務めております。昭和大学では全国の歯学部にも先駆けて独自の

OSCEを導入し実施してきました。その後、2005年より実施評価機構による正式実施から今日まで、OSCE運営のほか多くの大学へ外部評価者として参加してきました。来年度からのOSCE公的化への対応のみならず歯学教育の発展のために努力していく所存です。今後とも何卒よろしく御礼申し上げます。



歯学部  
歯科補綴学講座  
顎関節症治療学部門  
教授 菅沼 岳史

### 薬学生の社会性を育む教育方略の導入と実践

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、心から光栄に思っております。この受賞は、中村明弘薬学部長をはじめとするこれまで携わってくださった多くの方々のご支援やご協力によるものであり、深く感謝しております。

私は企業研究者としてのキャリアを活かし、実習、講義および研究において学外研究者を招聘し、学生たちにリアルな現場での知識や経験を提供する機

会を創出してきました。また、教育委員としては、薬学研究テーマ選択においてエントリーシートと面接を導入し、学生たちの自己分析や表現力の向上に取り組みました。これらは学生たちの将来のキャリア形成や就職活動において重要な能力を養うものであり、その成長を実感することができました。今後も学生たちの成長と大学教育の発展に貢献できるよう、努力を続けてまいります。



薬学部  
基礎医療薬学講座  
薬剤学部門  
准教授 原田 努

### 理学療法学・作業療法学統合カリキュラムの構築

この度上條奨学賞を賜り大変光栄に存じます。このような名誉ある本賞を授与できたのは、保健医療学部教育推進室の先生方が導いてくださったおかげです。それ故、個人として表彰されることに心苦しさもあります。この場を借りて、統合カリキュラムの構築に関与したすべての方々に深謝いたします。

現在、リハビリテーション学科の統合カリキュラムは、1年次のシラバスが作成され運用が始まっていますが、これから2～4年次の細部の検討へと進んでいる段階です。リハビリテーション学科統合の真の理念を具現化するため尽力する所存であります。今後ご指導ご鞭撻の程よろしく御礼申し上げます。



保健医療学部  
リハビリテーション学科  
作業療法専攻  
教授 作田 浩行

### コロナ禍における寮運営、寮管理に対する先駆的な取り組み

この度は栄えある上條奨学賞を賜りますこと、恐悅至極に存じます。今回の受賞は、私一人の功績ではなく、富士吉田教育部長の倉田知光教授をはじめ、富士吉田教育部の寮運営に関わる全ての職員の皆様からの惜しみない協働と、コロナ禍のため、多くの制約がある寮生活を学生の皆さんたちが前向きに過ごしてくれたことによるものだと思っております。この場を借

りて、改めて職員の皆様とコロナ禍中の寮生活を成し遂げてくれた学生諸氏にお礼を申し上げます。富士吉田教育部における一年間の全寮制は全人教育に欠かせない制度であるとともに、昭和大学マインドを育成する礎となっております。富士吉田での寮運営および初年次教育の発展に今後とも精励する所存であり、今後ともよろしく御礼申し上げます。



富士吉田教育部  
教授 萩原 康夫



# Press Release

昭和大では最新の研究成果を外部（マスメディア）に発信しています。  
ここでは、プレスリリースとして発信した記事をご紹介します。

## 日本人特有のBRCA2遺伝子の病的バリエーションを発見 乳癌・卵巣癌に対し、ゲノム情報に基づく 個別化医療の実践に期待



**昭**和大学の中村清吾特任教授（同大臨床ゲノム研究所・所長）、国立病院機構東京医療センター遺伝診療科の山澤一樹医師、同乳癌外科の松井哲科長らの研究グループは、佐々木研究所附属杏雲堂病院、国立がん研究センター、国立病院機構岩国医療センター、がん研究会有明病院、順天堂大学、慶應義塾大学、東京都立駒込病院との共同研究により、日本人に特有のBRCA2遺伝子のバリエーション<sup>(※1)</sup>を発見。その病的意義を機能解析実験により実証し、病原性を証明した。本研究成果は、2023年4月18日午前0時（日本時間）国際科学誌『Cancer Science』オンライン版に掲載された。

日本人の女性は、その生涯のうちに11%が乳癌を、1%が卵巣癌を発症するといわれている。一般的には癌は遺伝する疾患ではないが、遺伝性乳癌卵巣癌は親から子へ50%の確率で遺伝する。BRCA1およびBRCA2遺伝子は、遺伝性乳癌卵巣癌の原因遺伝子として知られている。これらの遺伝子のいずれかに生まれつきの病的な変化（バリエーション）を持つ方は、乳癌、卵巣癌、膵臓癌、前立腺癌等を若年で発症する可能性が高く、定期的な癌のサーベイランス<sup>(※2)</sup>、予防的なリスク低減手術や、分子標的治療薬（特にPARP阻害薬）の投与などの積極的な医学的管理が行われる。

現在、BRCA1およびBRCA2の遺伝子検査（遺伝学的検査）は健康保険が適応され、一般診療でも広く実施されているが、その際、病的意義がわからないバリエーション（Variant of Uncertain Significance: VUS）が同定されることがある。このVUSが検出された場合は、癌発症のリスクが判断できないため、上記のような積極的な管理は一般的には行われず、時にバリエーション保持者の不利益につながることもある。

こうしたVUSに対して、病的意義を評価する有効な方法のひとつが、分子生物学的な実験によってバリエーションの機能解析の実践である。

### ■成果

今回、研究グループは、各施設の受診患者、JOHBOCデータベース<sup>(※3)</sup>、過去の論文報告を調査し、BRCA2遺伝子のバリエーションc.7847C>T (p.Ser2616Phe)を有する乳癌・卵巣癌の日本人患者7家系10名を発見した。

本バリエーションはいずれの家系でもVUSと解釈されており、遺伝性乳癌卵巣癌における積極的な医学的管理は実施されていなかっ

た。本バリエーション保有者の癌の発症年齢や病理組織型などの臨床的特徴は、遺伝性乳癌卵巣癌で見られる特徴と一致していた。

このバリエーションは日本人家系でのみ存在し、一方、海外の一般集団データベースには登録されておらず、日本人に特有のものと考えられた。各種のコンピュータシミュレーションによる機能予測では、本バリエーションは高い確率で病原性を持つことが推定された。

そこで研究グループは、MANO-B法およびABCDテストと呼ばれる細胞実験による機能解析を実施した。この結果、本バリエーションが病原性をもつことが分子遺伝学的に証明された。また本バリエーションは、日本人集団に特異的に認められ、乳癌および卵巣癌等の発症素因となる病原性をもつと結論づけた。

### ■展望

本バリエーションの病原性が明らかとなったため、バリエーション保有者に対して、乳癌・卵巣癌に対するサーベイランスやリスク低減手術が推奨され、またPARP阻害薬の使用が考慮される。

本バリエーションは日本人に特有であり、日本人の祖先に偶然生じたバリエーションが現在まで世代継承されていると推察されるが、VUSの判定のまま適切な医学的対応が取られていないバリエーション保持者も相当数にのぼると推察される。本バリエーションの病原性を広く周知することで、ゲノム検査の結果に基づき患者さん一人ひとりにあった治療を行う個別化医療の実践に貢献することが期待される。

**リリース時タイトル**／昭和大などの研究グループが日本人に特有のBRCA2遺伝子の病的バリエーションを発見 -- ゲノム情報に基づく個別化医療の実践に期待

### 用語解説

- ※1 バリエーション：遺伝子の多様性を意味する言葉で、ヒトによってさまざまなDNAの配列が異なることが、ヒトの特徴や体質の多様性を生み出している。特に疾患の発症に関わることが明らかになったバリエーションは病的バリエーションと呼ばれる。
- ※2 サーベイランス：遺伝的に癌の発症リスクが高い方を対象に、ハイリスクな臓器に対してきめ細かく計画的に検査を行うこと。
- ※3 JOHBOCデータベース：日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構（JOHBOC）が管理する遺伝性乳癌卵巣癌およびBRCA1/2遺伝学的検査に関するデータベース。2022年8月までに、BRCA1/2遺伝学的検査受検者約16,000名、BRCA1/2病的バリエーション保持者約3,600名が登録されている。

**掲載誌**／Cancer Science

**論文名**／The pathogenic role of the BRCA2 c.7847C>T (p.Ser2616Phe) variant in breast and ovarian cancer predisposition

著者／Kazuki Yamazawa, Kokichi Sugano, Kohji Tanakaya, Satomi Inoue, Haruka Murakami, Moeko Nakashima, Masataka Adachi, Shinya Oki, Takeshi Makabe, Hiroshi Yamashita, Arisa Ueki, Ayako Sasaoka, Ayako Nakashoji, Takayuki Kinoshita, Tatsuo Matsunaga, Masami

Arai, Seigo Nakamura, Hiroaki Miyata, Masachika Ikegami, Hiroyuki Mano, Shinji Kohsaka, Akira Matsui  
DOI／10.1111/cas.15799

## 世界初！アルツハイマー病の新規治療薬 レカネマブの作用機序の一端を解明 神経変性疾患のさらなる治療薬開発に貢献



**昭**和大学（東京都品川区／学長：久光正）の小野賢二郎客員教授（医学部内科学講座脳神経内科学部門、金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学・教授）と辻まゆみ教授（薬理科学研究センター）らは、金沢大学ナノ生命科学研究所の中山隆宏准教授らとともに、アルツハイマー病（AD）<sup>(※1)</sup>の発症原因と考えられているアミロイドβタンパク質（Aβ）の凝集体に、新規根本的治療薬である抗アミロイドβ抗体レカネマブが結合していく様子を、高速原子間力顕微鏡（高速AFM）<sup>(※2)</sup>で捉えることに世界で初めて成功した。本研究によりレカネマブの臨床効果の機序の一端が明らかとなり、将来、ADを中心とする神経変性疾患の更なる新規根本治療薬の開発につながることを期待されます。本研究成果は、2023年5月4日（米国東部時間）に国際学術誌『Nano Letters』のオンライン版に掲載された。

ADは認知症の中で最も多い疾患であり、その発生率は人口の高齢化とともに増大している。ADの主な病理学的特徴には、Aβからなる老人斑とタウタンパク質（タウ）からなる神経原線維変化が挙げられる。Aβの凝集・沈着過程は、タウと共にADの病態に大きく関わっていると考えられており（アミロイド仮説）、早期あるいは中間凝集段階であるオリゴマーやプロトフィブリル<sup>(※3)</sup>がADの病因において重要な役割を果たすことが、これまでの研究により示唆されている。

しかし、アミロイド凝集過程では単量体、線維に加え、オリゴマーやプロトフィブリルのような準安定な凝集体など、さまざまな凝集体分子種が共存しており、個々の凝集体分子種の構造動態を分析することは困難だった。

本研究では高速AFMを用いてAβの構造動態を1分子レベルで観察し、Aβプロトフィブリルに多数のレカネマブが取り囲むように結合する様子を動画で捉えることに成功した。さらに、レカネマブがAβオリゴマーにも結合することで更なる凝集過程を制御することも明らかにした。また、神経細胞を用いた実験により、レカネマブがAβのプロトフィブリルやオリゴマーに結合することで、プロトフィブリルの神経細胞への毒性、特に細胞膜への直接毒性が軽減することを明らかにした。

本研究により、レカネマブの臨床効果の機序の一端を解明することができた。これらの知見は将来、ADを中心とする神経変性疾患の更なる新規根本治療薬の開発につながることを期待される。

本研究成果は、2023年5月4日（米国東部時間）に国際学術誌『Nano Letters』のオンライン版に掲載された。

### ■研究の背景・目的

ADは認知症の中で最も多い疾患であり、その発生率は人口の高齢化とともに増大している。ADの主な病理学的特徴には、Aβからなる老人斑とタウからなる神経原線維変化が挙げられ、Aβの凝集・沈着過程は、タウと共にADの病態に大きく関わっていると考えられている（アミロイド仮説）。単量体であるAβモノマーは凝集して、オリゴマー、そしてプロトフィブリル、最終的に成熟線維を形成し（図1）、AD患者の脳において神経機能障害を引き起こしますが、特に早期あるいは中間凝集段階であるオリゴマーが、ADの病因において重要な役割を果たすことが示唆されている（図1）（関連文献1）。

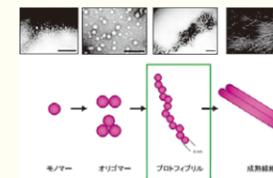


図1：アミロイドβの凝集過程

プロトフィブリルを標的にしたレカネマブは、プラセボ対照の第2相臨床試験において脳内アミロイド蓄積の減少とともに認知機能の一部に改善が認められたことが報告された。2022年11月末に実施された1,795人の軽度認知障害（MCI）<sup>(※4)</sup>および軽度AD患者を対象とした第3相試験において、投与18カ月時点での臨床認知症評価尺度（CDR-SBスコア）（※5）の平均変化量は、レカネマブ投与群がプラセボ投与群と比較して27%の悪化抑制を示し、主要評価項目を達成したことが発表された（関連文献2）。2023年1月にはアメリカ食品医薬品局（FDA）はレカネマブを迅速承認し、日本、欧州でも承認申請が行われている（関連サイト3）。

このようにレカネマブの臨床試験での有効な効果が相次いで報告されてきたが、その作用機序に関しては依然不明な点が多く残されていた。

### ■研究成果の概要

今回の研究では、高速AFMを用いてレカネマブ投与後のプロトフィブリルの様子を観察した。その結果、Aβプロトフィブリルに多数のレカネマブが取り囲むように結合する様子を動画で捉えることに成功した（図2）。加えて、レカネマブがオリ

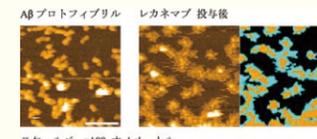


図2：レカネマブ投与後のプロトフィブリルの高速AFM画像（左）と模式図（右：レカネマブ（シアン）、凝集体（オレンジ）で覆われた領域）

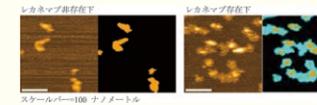


図3：レカネマブ存在下・非存在下の凝集反応の高速AFM画像（左）と模式図（右：レカネマブ（シアン）、凝集体（オレンジ）で覆われた領域）

ゴマーにも結合することでさらなる凝集過程を制御することも明らかにした（図3）。

実際に神経細胞を用いた実験によって、レカネマブがAβプロトフィブリルやオリゴマーに結合することにより、プロトフィブリルの神経細胞への毒性、特に細胞膜への直接毒性が軽減することを明らかにした（図4）。

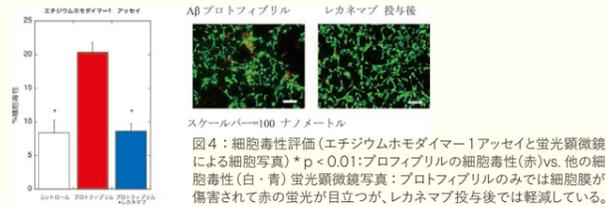


図4：細胞毒性評価（エチジウムホモダイマー1アクセシと蛍光顕微鏡による細胞写真）\* p < 0.01:プロトフィブリルの細胞毒性(赤)vs. 他の細胞毒性(白・青) 蛍光顕微鏡写真：プロトフィブリルのみでは細胞膜が傷害されて赤の蛍光が目立つが、レカネマブ投与後では軽減している。

これまで、抗Aβ抗体の作用機序として、主にAβ凝集体に結合した抗体を認識した免疫細胞による貪食作用が考えられていたが、今回の研究ではそれに加える新たな機序として、レカネマブがAβプロトフィブリル表面に結合することによりプロトフィブリル自身の直接の細胞毒性（特に膜障害）を軽減させること、プロトフィブリルより前の段階のAβオリゴマーにレカネマブが結合してより大きな凝集体形成を阻害することにより細胞毒性を軽減させることを発見した。

#### ■今後の展開

レカネマブが、Aβのプロトフィブリルやオリゴマーに直接結合することにより、神経細胞への直接毒性を軽減させることを明らかにした本研究（図5）によって、上述のレカネマブの臨床効果の機序の一端が明らかになり、ADの病態により迫れた可能性があると考えられる。本研究成果はADを中心とする神経変性疾患のさらなる新規根本治療薬の開発に役立つものと期待される。

本研究は、日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤研究（C）、26461266、19K07965）、文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）、金沢大学超然プロジェクト、エーザイ株式会社の支援を受けて実施された。



図5：レカネマブ投与後のプロトフィブリルのAβイメージ

## 精神疾患患者を対象に、医療用音声メモアプリによる服薬支援の共同研究を開始



昭和大学（東京都品川区、学長：久光正）は、株式会社pipon（東京都中央区、以下「pipon」）と共同で、精神疾患の患者さんを対象に、医療用音声メモアプリによる服薬支援の研究を開始する。この共同研究では、同社のスマホアプリ「ドクターボイス」を用いた服薬支援の実現可能性を評価し、精神疾患の患者さんのアドヒアランス向上<sup>(※1)</sup>とより良い治療アウトカム<sup>(※2)</sup>

リリース時タイトル／昭和大学などの研究グループがアルツハイマー病の新規治療薬レカネマブの作用機序の一端を解明

#### 用語解説／

- ※1 アルツハイマー病（AD）（Alzheimer's disease）：認知症をきたす疾患の中で一番患者数が多いと言われている。脳の神経細胞が減って脳が萎縮してしまうために、症状が現れ、徐々に進行していく。
- ※2 高速原子間力顕微鏡（高速AFM）：原子間力顕微鏡は、レコードプレーヤーの針がレコード盤の表面の形状をなぞるように、探針（プローブ）と試料間の相互作用を2次元に走査し、試料の起伏の画像を取得する顕微鏡。ナノメートル（10のマイナス9乗メートル）の空間分解能を持つことに加え、試料は真空中のみならず、空気中、液中と環境を選ばない。金沢大学の安藤敏夫特任教授の研究グループはこの原子間力顕微鏡の高速化に成功し、液中でのナノメートル空間分解ビデオ撮影を実現させ、蛍光などの標識無しでタンパク質などの生体分子の構造と動き（動態）を同時に観察することができるようになった。
- ※3 プロトフィブリル：75-500Kdの可溶性Aβ凝集体で、Aβの凝集過程（モノマー→線維）における中間段階で高分子オリゴマーの範疇に含まれる（関連論文4）。
- ※4 軽度認知障害（MCI）（Mild Cognitive Impairment）：正常老化過程で予想されるよりも認知機能が低下しているが、認知症とはいえない状態。認知症の前段階にあたりますが、日常生活能力はほぼ保たれる。
- ※5 臨床認知症評価尺度（CDR）（Clinical Dementia Rating Sum of Boxes）：記憶、見当識、判断力と問題解決、地域社会活動、家庭生活および趣味・関心、介護状況の6項目について評価し、総合判定を行う。6項目のスコアの合計点がCDR-SBのスコアとなり、早期のステージのADを対象とした治療薬の適切な有効性評価としても使用される。

#### 掲載誌／Nano Letters

論文名／Structural dynamics of amyloid-β protofibrils and actions of anti-amyloid-β antibodies as observed by high-speed atomic force microscopy（高速原子間力顕微鏡で観察したアミロイドβプロトフィブリルの構造ダイナミクスと抗アミロイドβ抗体の作用）

著者／Takahiro Watanabe-Nakayama, Mayumi Tsuji, Kenichi Umeda, Tatsunori Oguchi, Hiroki Konno, Moeko Noguchi-Shinohara, Yuji Kiuchi, Noriyuki Kadera, David B. Teplow, Kenjiro Ono（中山隆宏、辻まゆみ、梅田健一、小口達敬、紺野宏記、篠原もえ子、木内祐二、古寺哲幸、デービッド・ビー・テプロフ、小野賢二郎）

DOI／10.1021/acs.nanolett.3c00187

#### 関連文献・論文・サイト／

1. Ono K. Alzheimer's disease as oligomeropathy. Neurochem Int 119: 57-70, 2018.
2. van Dyck CH, Swanson CJ, Aisen P, Bateman RJ, Chen C, Gee M, Kanekiyo M, Li D, Reyderman L, Cohen S, Froelich L, Katayama S, Sabbagh M, Vellas B, Watson D, Dhadda S, Irizarry M, Kramer LD, Iwatsubo T. N Engl J Med 388: 9-21, 2023.
3. <https://www.alzforum.org/therapeutics/>
4. Ono K, Tsuji M. Protofibrils of Amyloid-β are Important Targets of a Disease-Modifying Approach for Alzheimer's Disease. Int J Mol Sci 21:952, 2020.

を目指す。

日本において精神疾患は社会問題となっており、患者さんの自己管理や医療機関との連携が重要視されている。本研究は、医療用音声メモアプリ「ドクターボイス」に新たな機能を追加し、服薬支援に役立てることを目的にpiponと昭和大学が共同で新機能を

開発し、精神疾患の患者さんへの服薬支援を行うもの。

「ドクターボイス」は、医師との会話の書き起こしと、医療用語の解説が可能なスマートフォン用アプリのこと。医師に許可をとった上で患者さんが録音を開始すると自動でその内容が書き起こされる。書き起こした文章内の医療用語を認識し、当該医療用語の解説を表示することが可能。音声や書き起こしたデータは、家族などと共有することもできる。

今回の研究ではpiponと昭和大学による新機能の共同開発によって、「ドクターボイス」に患者さん自身が日常の服薬行動データを記録し、医療機関と共有できる機能を付加するとともに、その実現可能性を評価する。昭和大学は臨床的観点からの助言と研究を行い、両者がともに研究の企画立案と運営、および解析を実施する。

pipon代表取締役の北爪聖也氏は「本アプリによって、精神疾患患者さんをご自身の状態をいつでも把握でき、適切なタイミングで適切な対処行動をとれることで、日常生活が送りやすくなることを実現できることを願っています」と述べている。

また、薬学部臨床薬学講座臨床研究開発学部門の肥田典子准教授は「薬を医師の指示通り服用できるよう老若男女を問わず使

いやすいアプリの開発を目指しています。本アプリを活用し、多くの患者さんが主体的に治療に取り組むことができるよう願っています」と語る。

本共同研究は、2022年11月に開催した「昭和大学臨床ニーズマッチング会」において、肥田准教授から企業に対し提案されたニーズの具現化に向けた取り組み。

リリース時タイトル／昭和大学と株式会社piponが医療用音声メモアプリによる服薬支援の共同研究を開始--スマホアプリを用いて精神疾患治療における薬の服用を支援

#### 用語解説／

- ※1 アドヒアランス：患者さんが積極的に治療方針の決定や服薬に関わり、その決定に沿った治療を受けること
- ※2 治療アウトカム：治療や検査などの医学的介入によって得られる患者さんの状態などの結果・成果のこと

「ドクターボイス」 <https://www.doctor-voice.com/>

関連記事／昭和大学が医工連携への取り組みとして学生ニーズ提案会を開催（2022.12.21） <https://www.u-presscenter.jp/article/post-49719.html>

## 創立100周年記念事業募金 ご支援のお願い

本学は令和10年（2028年）に創立100周年を迎えます。この大きな節目を迎えるにあたり、教育・研究・診療体制の充実や更なる発展のため、創立100周年記念事業を策定いたしました。

経済情勢の厳しい折ではありますが、本学における重要な役割を担う記念事業の実現へ向け、新時代への道筋を皆様と共に歩みたいと切に願っております。

皆様には本学の取組みに対して、ご理解・ご賛同いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### お問い合わせ

総務部企画課 企画サポート係

メール：kikaku@ofc.showa-u.ac.jp

電話：03-3784-8387

FAX：03-3784-8012



ご感想・ご意見・ご提供のお願い

「SHOWA UNIVERSITY NEWS」=「SUN」では引き続き学内の情報についてご紹介をしていきます。本誌のご感想や、今後開催されるイベント・取り組みなどの情報について、ご意見・ご提供をお願いしております。ぜひお気軽にお寄せください。二次元コードからWEBフォームよりお聞かせください。今後もご購入の皆様により良い情報を提供していけるよう、努めてまいります。

ご回答いただいた内容につきましては、本誌制作の資料としてのみ利用させていただきます。



2023.4.24

## 優秀サークル表彰式・新規公認認定通知授与式 職員のサークル活動がさらに充実

4月24日、令和4年度優秀サークル表彰式および令和5年度新規公認サークル認定通知授与式を旗の台キャンパスで開催した。優秀サークルとして3サークルが表彰され、小口勝司理事長から表彰状と金一封が贈呈された。また、新規公認サークルとして1サークルに認定通知が授与された。

そして、優秀サークルの各代表者より、コロナ禍で制限された中での、昨年度の活動について報告が行われた。また、新規公認サークルの代表者からは、設立の趣旨、そしてこれからの活動に対する意気込みが述べられた。

昭和大学職員公認サークルは、種々様々な学内交流を通じて、職員同士が職種を越えて親睦を深めることを目的に、平成23年度に設けられた。現在は、69サークルが認定され、活動している。

### 令和4年度 優秀サークル

| サークル名                 | 活動内容        |
|-----------------------|-------------|
| 昭和大学合唱団 Sincere Choir | 合唱          |
| RUN友♡                 | ランニング       |
| ご当地グッズ開発研究会           | グッズ開発(富士吉田) |

### 令和5年度 新規公認サークル

| サークル名           | 活動内容 |
|-----------------|------|
| のどごしグルメ研究会スワローズ | 嚙下食  |

### サークル名 RUN友♡

|        |                                                 |
|--------|-------------------------------------------------|
| 所属数    | 56名                                             |
| 活動日    | 不定期                                             |
| 代表者名   | 宗近次朗 川崎奨太                                       |
| 問い合わせ先 | 歯科病院 放射線技術室 川崎奨太<br>kawasaki@cmed.showa-u.ac.jp |

紹介文 RUN友♡は、みんなで楽しく走り、支えあうことを目的に2011年より活動しているサークルです。所属病院はバラバラで、多職種にて成り立っています。多摩川沿いで開催される河原駅伝大会に毎年出場し、メンバーでタスキを渡していました。コロナ禍のため、駅伝大会等の中止が続き、大会等へ出場できていませんでしたが、個別にマラソンを楽しんだりしています。コロナが落ち着き、大会が再開されたら、また駅伝を楽しみます！一緒に走りた方、みんなで応援したい方、ご興味のある方、お気軽にお声がけください！



メンバーで集合写真

式典・行事 サークル



1 優秀サークル活動報告(ご当地グッズ開発研究会) 2 記念撮影

### サークル名 昭和大学合唱団 Sincere Choir

|        |                                                         |
|--------|---------------------------------------------------------|
| 所属数    | 37名                                                     |
| 活動日    | 毎月3~4回(木曜日2回、土曜日1~2回)                                   |
| 代表者名   | 保健管理センター 田中大介                                           |
| 問い合わせ先 | e-mail: daisuket@med.showa-u.ac.jp<br>Tel: 03-3784-8071 |

紹介文 昭和大学合唱団は2011年10月に誕生し、「皆で楽しく歌う」ことをモットーに上條記念館開館記念第九演奏会をはじめ、卒業式や謝恩会など種々の行事等でも歌って参りました。その間、施設や職種を越えて多くの仲間との出会いがありました。この絆を大切に、そしてさらに深め、団員一同、昭和大学のチームの一員として頑張りたいと思います。現在、昭和大学創立95周年記念式典の演奏会(2023年11月15日)に向けて練習しています。一緒に歌って下さる方、是非、お待ちしております♪



上條メモリアル合唱団と6回目の練習(マスク着用)の後に息を止めてパチリ!

### サークル名 ご当地グッズ開発研究会

|        |                           |
|--------|---------------------------|
| 所属数    | 26名                       |
| 活動日    | 随時                        |
| 代表者名   | 富士吉田教育部 金丸 みつ子            |
| 問い合わせ先 | mitsuko@med.showa-u.ac.jp |

紹介文 昭和大学富士吉田校舎には、昭和大学の学生全員とそれを支える教職員の貴重な体験や思い出があります。まずは、その貴重な体験や思い出と、昭和大学入学時の初心を、呼び起こすことができる富士吉田校舎オリジナルグッズの試作をしています。令和4年度は、富士吉田校舎の敷地で育った赤松材に、「富士山と寮と建学の理念「至誠一貫」からなる図案をレーザーで彫刻したスマホ立てとコースターを試作し、協力してくれた学生と教職員に無料配布しました。「作る人を笑顔に、そして手にした人を笑顔に!」を目標に活動していきます。随時、会員募集中です。



無料配布したオリジナルグッズ

2023.5.12

## 144名にナースキャップを授与 臨地実習に向けて戴帽式を挙行

5月12日、快晴のなか、第59回戴帽式を昭和大学上條記念館で執り行い、教育職員から学生144名の一人ひとりにナースキャップを授与した。

戴帽後には、代表の大浦彩音さんとともにナイチンゲール誓詞が唱和され、学生一同は、看護師を目指す者としての決意を新たにしました。

小川良雄学校長は告辞で「臨地実習は今まで習得した知識と技術を実践し、患者さんから多くを学ぶ場です。戴帽式のキャンドルはフローレンス・ナイチンゲールにちなんだものです。クリミア戦争での野戦病院の夜回りから“クリミアの天使”とも呼ばれましたが、自身はそれを喜ばなかったそうです。天使とは花をまき散らすのではなく、苦悩するもののために戦うものである、という言葉通り、衛生状態と食事管理を大幅に改善し、負傷者の死亡率激減につなげました。現在の感染予防に通ずるものがあります。皆



1 戴帽後の会場 2 戴帽後の会場 3 告辞:小川良雄学校長 4 ナイチンゲール誓詞:大浦彩音さん

さんも至誠一貫の心を育み、また看護専門学校の精神である清楚な美を体現してください。実りある実習となることを祈ります」と述べた。

続いて、久光正学長、小風暁医学部長、小口勝司理事長、荒川千春統括看護部長から祝辞があった。

最後に、学生を代表して、滝本大生さんが昭和大学宣言を行った後、看護専門学校の歌を斉唱して閉式となった。

2023.5.22

## 合計68名に奨学金を給付 特別奨学生・シンシアー奨学生 採用式

5月22日、令和5年度昭和大学特別奨学生・シンシアー奨学生採用式を上條記念館で挙行了。今年度は、特別奨学生として医・歯・薬学部のあわせて26名、シンシアー奨学生として医・歯・薬・保健医療学部のあわせて42名が採用された。

昭和大学特別奨学金は、4年次の成績が上位で、卒業後は本学大学院に進学し、引き続き本学において専任教育職員として教育・研究・臨床の分野で大学の発展のために貢献する意思があることが採用の条件になっている。奨学生には5年次と6年次の



1 採用式会場の様子 2 採用証授与

授業料相当額の奨学金が給付され、大学院に進学した場合も同様に奨学金が給付される。

昭和大学シンシアー奨学金は、社会に貢献できる優れた医療人の育成を目的として、令和4年度に創設された奨学金。2年次、3年次および4年次の学生で要件を満たした者に給付される。

2023.6.5

## 富士吉田キャンパスで防災訓練を実施 初期消火の重要性も学ぶ

6月5日、富士吉田キャンパスにおいて防災訓練を実施した。

昼間の授業中に4号館実習室より火災が発生した場合を想定し、職員および学生が迅速かつ安全に避難する手順や対応策を確認した。

学生たちは館内放送で火災の発生が周知され、同時に避難指示が出されると、屋外へ向けて一斉に避難を開始した。避難完了後は、点呼を行い、逃げ遅れの有無を把握する際の段取りを確認した。

そのほか、学生たちは訓練用消火器による初期消火訓練を行い、初期消火の重要性を学んだ。



1 避難の様子 2 避難場所 3 初期消火訓練 4 初期消火訓練(カラーコーンを火元に見立てて)

## 認定看護師教育センター開講式 79名が切磋琢磨しながら学ぶ

6月1日、令和5年度昭和大学認定看護師教育センター開講式を上條記念館で開催した。

久光正学長の告辞の後、三村洋美認定看護師教育センター長は挨拶で「お配りしたネームストラップは皆さんのキャリアが鳥のように青空を高く羽ばたいていくことを祈り、空色にしました。ぜひ誇りを持ってストラップを着用し、様々な経験をしてください。本日開講式を迎えた79名全員でともに学び、切磋琢磨して、より高い知識と技術を身につけて、認定看護師になっていただきたい」と語った。

閉式後、教員紹介や分野別オリエンテーションが実施された。

今年度は手術看護分野20名、腎不全看護分野16名、認知症看護分野15名、感染管理分野15名、クリティカルケア分野13名の計79名の入学となった。



1 挨拶：三村 洋美 認定看護師教育センター長 2 記念撮影



## 次のキャリアへと進む 認定看護管理者教育課程

2023年度認定看護管理者教育課程のファーストレベルおよびセカンドレベルの開講式を5月19日と6月23日、オンラインで開催した。

ファーストレベル開講式では、小川良雄リカレントカレッジプリンシパルが「皆さんはこれから117時間の研修の中で、システムや資質、人材管理など難しい課題に取り組みられることと思います。新たなものを学ぶ喜びを十分感じつつ、共に学ぶ仲間や昭和大学のスタッフとの繋がりを大切に、7月に全員が無事修了されることをお祈りしております」と告辞を述べた。



1 ファースト開講式告辞：小川良雄リカレントカレッジプリンシパル 2 記念撮影

セカンドレベル開講式では、荒川千春統括看護部長が「セカンドレベルは担当部署の目標を設定して課題を達成していくことが主な学修になります。自部署の組織分析をする研修はかなりハードですが、楽しみながらディスカッションを重ね、研修を進めていきましょう」と祝辞を述べた。

## 4年ぶりに対面で開催 父兄会総会に 保護者約400名が集う

6月10日、2023年度昭和大学父兄会総会を上條記念館で開催し、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部の学生の保護者約400名が出席された。

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での開催は4年ぶりとなった。

総会は橋本幹生父兄会長と久光正父兄会名誉会長、小口勝司理事長の挨拶で始まり、前年度の父兄会・父兄互助会の決算報告や今年度予算および事業計画などの議案について説明があり、全ての審議事項について承認された。

総会終了後は、各学部にわかれて部会が開催され、カリキュラムや学生生活などさまざまな事項が、学部長をはじめとする担当



1 父兄会長挨拶 2 総会の様子 3 医学部部会 4 歯学部部会 5 薬学部部会 6 保健医療学部部会

教育職員から説明された。

各学部会終了後、地下1階富士桜(バンケットルーム)にて懇親会が行われた。

懇親会にも多くの保護者に参加していただき、教育職員も交えて参加者間の親睦を深めた。

## 職員を対象に卓越した貢献者を表彰 医師会アワード「Persons of the year」

昭和大学医師会主催の表彰制度である「Persons of the year」の令和4年度表彰が行われた。

Persons of the yearでは、本学旗の台キャンパスおよび昭和大学病院、附属東病院に勤務する職員を対象に診療・教育・研究・事務作業などで卓越した貢献者に感謝の意を表して1名が選出された。多職種間で協働する環境において職員の活躍に注目し、活性化されることが望まれる。



(左から) 推薦者の小林洋一医療安全管理責任者、戸田桂子さん、相良博典会長

Persons of the year ※敬称略・受賞当時

昭和大学病院 医療安全管理部門 医療安全管理者 看護部所属  
戸田 桂子

## 「Gerodontology」誌 年間DL数・引用数トップの快挙

畑中幸子助教（歯学部口腔健康管理学講座口腔機能管理部門）の原著論文が、2021-2022年で国際老年歯科医学雑誌「Gerodontology」に掲載されたもののうち、1年間で最もダウンロードされた論文として表彰された。同論文は、歯科病院における口腔機能管理・指導が外来通院患者の舌口唇運動機能に与える影響について明らかにしたものの。



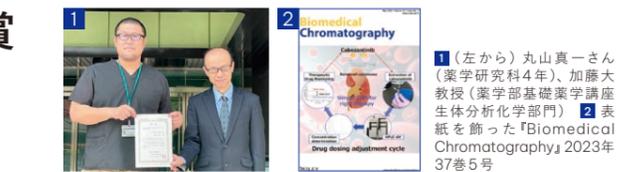
畑中幸子助教

古屋純一教授

また、古屋純一教授(同)の原著論文が、同じく「Gerodontology」にて1年間で最も引用された論文として表彰された。同論文は、急性期病院での栄養失調患者における口腔の健康状態及び栄養サポートとの関連性について明らかにしたものの。

## 日本薬学会学生優秀発表賞を受賞 研究論文が学術雑誌の表紙にも

薬学研究科4年の丸山真一さん（生体分析化学専攻、済生会横浜市東部病院薬剤部）が、日本薬学会第143年会（3月25日～28日：北海道大学）において、『HPLC-UVを用いた血漿中カポザチニブの定量法の開発』というテーマで発表し、学生優秀発表賞（ポスター発表の部）を受賞した。



また、同研究論文が、『Biomedical Chromatography』2023年37巻5号の「Featured Cover」に選ばれ、研究の概要を示すイラストが同号の表紙を飾った。

1 (左から) 丸山真一さん(薬学研究科4年)、加藤大教授(薬学部基礎薬学講座生体分析化学部門) 2 表紙を飾った『Biomedical Chromatography』2023年37巻5号

## 「Neurological Sciences」誌に 症例報告が掲載

可逆性脳血管攣縮症候群の思春期男子の臨床経過を分析

医学部6年の後藤慈音さん、阿部祥英准教授(江東豊洲病院こどもセンター)、渡邊修一郎院長(渡辺こどもクリニック)らの研究グループは、可逆性脳血管攣縮症候群の思春期男子例の特徴的な画像上の臨床経過をまとめ、小児の急性期の二次性頭痛の鑑別疾患として考慮すべきであると主張した。

この症例報告は、『Neurological Sciences』誌に掲載された。



後藤慈音さん(医学部6年)と誌面掲載された症例報告

タイトル/Sudden-onset headache due to reversible cerebral vasoconstriction syndrome  
掲載紙/Neurological Sciences  
著者/Jion Goto, Yoshifusa Abe, Shuichiro Watanabe  
DOI/10.1007/s10072-023-06863-0

## 各施設4年ぶりに対面で開催 春期公開講座に合計343名が参加

春期公開講座「暮らしと健康」が5月から6月にかけて各施設で開催、新型コロナウイルス感染症の影響によりWEB配信となっていたが、今年度は各施設4年ぶりに対面形式で行われた。各講演終了後には、参加者から多数の質問があり、講師は一つひとつ丁寧に答えていた。次回の昭和大学公開講座は秋期の開催を予定している。

**旗の台キャンパス** 今回は「最先端のがん治療、がんで亡くならないために」との副題のもと、がん治療の主要分野における最先端のがん治療を昭和大学の各専門領域から教育職員4名が講演し、5月13日、27日の2回開催、あわせて196名が参加した。

5月13日 大塚耕司教授（医学部外科学講座消化器一般外科学部門：昭和大学病院食道がんセンター）が「食道がんに対する最新の低侵襲外科治療について」と題し、がん治療の流れや手術方法について講演した。最新の手術方法として「低侵襲外科手術（内視鏡外科手術）」を取り上げ、大塚教授自ら執刀した手術手技の解説を中心に術後の生活を含めた食道がん治療の進歩について分かりやすく説明した。

続いて、伊藤芳紀教授（医学部放射線医学講座放射線治療学部門）が「体にやさしいがん放射線治療の最前線」をテーマとし、放射線治療の特徴、照射技術や機器の開発が進む高度放射線治療について講演した。放射線治療には治癒を目指した治目的とするだけでなく、痛みや出血、狭窄などのつらい症状を和らげることができ、生活の質を上げる役割も担っていることなどについて詳しく説明した。

5月27日 角田卓也教授（医学部内科学講座腫瘍内科学部門）が「がんを薬で治す、がん免疫療法の最前線」のテーマで、完治には「早期発見、手術で完全切除」と言われてきたがん治療の中で、手術ではなく薬を用いた「がん免疫療法」について講演しました。まだすべての患者さんに効果があるわけではなく課題もある免疫療法ですが、昭和大学で取り組んでいる研究や臨床試験などについて解説した。

さらに、中村清吾所長（昭和大学臨床ゲノム研究所）が「がんゲノム医療の最前線」と題し、遺伝性のがんについて、遺伝子異常が関連する発症リスクや早期発見につながる検診の重要性を講演した。がんの成り立ちを遺伝子レベルで調べ、最適な治療薬を見出す、あるいは、がんになることをいかに防ぐか、最新の取り組みを分かりやすく紹介した。

**横浜キャンパス** 6月17日、横浜キャンパスにて公開講座を開催し、20名が参加した。来住野麻美講師（保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻）が「Exercise is medicine-運動は良薬なり（運動器編）-」と題し、年齢とともに骨量・筋肉量が低下することを説明し、減少スピードを緩やかにするためには「運動」が重要であると説明した。「最適な運動」は個人によって異なる事を解説し、運動機能のセルフチェック等を紹介したうえで、日常での身体活動を増やすことが大切であると話した。

続いて、根本慎司講師（同）が「全身持久力向上のための運動療法-健康寿命の延伸の観点から-」と題して、全身持久力とそれを維持する必要性を分かりやすく解説した。ウォーキングな



1 旗の台キャンパス 2 横浜キャンパス 3 富士吉田キャンパス 4 江東豊洲病院

どの有酸素運動の有効性に加え「インターバル速歩トレーニング」が効果的であると説明した。

**富士吉田キャンパス** 5月27日、富士吉田キャンパス富士吉田スクエアガーデンにて、公開講座が開催され、41名が参加した。

はじめに、馬場章講師（昭和大学富士山麓自然・生物研究所）が「富士山噴火に備えるには？」と題し、300年以上噴火していない富士山が噴火した場合にはどのようなことが想定されるのか、富士吉田キャンパスを例として分かりやすく解説した。避難勧告や指示は自治体の地区ごとに発出されること、各市町村が配布している避難マップについて紹介し、「お住まいの地域にはどのような自然災害の危険性があるのか、家族で話し合ってみてはいかがでしょうか？」とよびかけた。

続いて、堀川浩之教授（富士吉田教育部健康スポーツ科学教室）が「自分の足で避難するためには」をテーマとし、万が一、災害が発生したとき、どのように避難するべきなのか、災害時に自力避難できるための体力的準備の方法を解説した。生活習慣の中でも取り入れやすい運動習慣に焦点をあて、有酸素能力、筋力について実践方法をレクチャーした。

**江東豊洲病院** 6月3日、江東豊洲病院にて、「なかなか聞けないトイレのお悩みスッキリ解決！」をテーマに公開講座が開催され、86名が参加した。

先着順ということもあり、申込開始当日の電話受付では約2時間で満員となるなど、多数の方に関心を寄せていただいた。

はじめに、田邊万葉助教（消化器センター消化器内科）が「健康は腸から始まる！-便秘について知ろう-」をテーマとし、便秘とは何か、便秘の診断基準や症状、ほかの疾患との関係や影響、便秘のメカニズムなどについて講演した。

さらに便秘の原因となる病気や薬剤がある事を説明し、便秘の診療や検査について紹介した。そして、便秘の対処法について、まず食事の見直しや適度な運動、マッサージなど、普段の生活習慣に取り入れやすいものが多いことを説明したうえで、現在は新薬の開発など便秘診療は日々進歩していると解説した。

続いて、平松綾医師（外科系診療センター泌尿器科）が「頻尿、尿漏れで困っていませんか？～原因と治療～」と題し、頻尿や尿漏れの原因や代表的な疾患とその治療方法を紹介し、生活習慣の改善や骨盤底筋体操が有効的であることを解説した。そして、実際に骨盤底筋体操の実践方法をレクチャーした。

## 日本私立学校振興・共済事業団 2023年度若手・女性研究者奨励金

採択課題 「ICI治療における新規同定単球遺伝子の機能解明及び治療応用」

策定者 鈴木梨沙子助教  
（所属）（医学部内科学講座腫瘍内科学部門）

日本私立学校振興・共済事業団  
2023年度若手・女性研究者奨励金 贈呈式



鈴木梨沙子助教 贈呈式

## 富士吉田キャンパスの学生が 地元のロータリークラブとの清掃活動に参加

5月21日、富士吉田キャンパスの学生有志23名が富士吉田ロータリークラブとの清掃活動に参加した。

地域貢献の一環として、富士吉田教育部では本活動への参加を今後も継続する予定。



清掃風景

2023.3.25～28

## 「Clinical Case Reports」誌に掲載 日本薬学会学生優秀発表賞を受賞

薬学研究科4年の中野僚太さん（毒物学専攻、現 薬学部基礎医療薬学講座生理学部門 助教）は、日本薬学会第143年会（3月25日～28日：北海道大学）において「イリノテカンベースの化学療法で重度の低血圧を生じた肺がん患者の1例」についてポスター発表し、1,159演題の中から学生優秀発表賞（ポスター発表の部）に選ばれた。

この研究成果は*Clinical Case Reports*誌に掲載された（Nakano R et al. 2022 Apr 21;10(4):e05718）。

左から百賢治准教授（統括薬剤部/薬学部病院薬理学講座）、中野僚太さん（薬学研究科4年、現薬学部基礎医療薬学講座生理学部門助教）、上條翔太郎講師（薬学部基礎医療薬学講座生理学部門）



タイトル/Irinotecan-induced severe hypotension in a patient with lung cancer

掲載紙/Clinical Case Reports

著者/Ryota Nakano, Kenji Momo, Airi Matsuzaki, Akiko Sakai, Takeshi Uchikura, Katsumi Tanaka, Satoshi Numazawa, Tadanori Sasaki  
DOI/10.1002/ccr3.5718.

2023.5.26

## 特別協定校でシミュレータ体験授業を実施 今後も高大連携を強化

5月26日、本学の教育職員が特別協定校である昭和女子大学附属昭和高等学校の生徒を対象に、シミュレータを用いた体験授業を実施した。授業には、医療系分野に興味のある2年生20名が参加した。

参加した生徒たちは、「BLS（一次救命措置）」「ALS（二次救命措置）」「縫合」の3つのブースに分かれ、順番にシミュレータを体験した。普段接することのない高機能患者シミュレータ（蘇生用モデル）、蘇生シミュレータ、縫合シミュレータに戸惑いながらも積極的に授業に取り組んでいた。

今後も両校は、様々な相互交流を通じて、高大連携を強めていく。

授業担当者

医学部医学教育学講座 川原千香子准教授、古田厚子講師、後藤理英子講師  
医学部薬理学講座臨床薬理学部門 三邊武彦准教授  
薬学部臨床薬学講座臨床研究開発学部門 肥田典子准教授



1 縫合シミュレータ 2 高機能患者シミュレータ（蘇生用モデル）



教育制度

# 昭和大学には「MDプログラム」がある!

医学部・歯学部・薬学部では、在学期間中（4年以降）に大学院研究科の指定した科目を履修することができる「Multi Doctor プログラム」制度がある。実際に開講している科目を大学院生と受講、専攻した分野の研究に触れることにより、研究マインドが醸成されるだけでなく、大学院進学後の早期修了を目指すことも可能。

学部4年から博士を目指す!



こんな学生におすすめ

- 大学院での学修、研究に興味がある
- 卒後の研究活動や技術の習得を今から始めたい
- 最短期間で博士号の学位を取得したい

MDプログラムで得られるチャンス

- 特別奨学生のチャンス**  
5・6年次の学納金給付を受けられる制度。条件のひとつに「本学大学院進学」があるため、プログラム履修生として第一ステップを。
- 早期修了制度**  
博士課程の在学期間を4年間で短縮できる制度。各研究科で条件が定められているが、学部在学中に各科目の単位を取得できるメリットは大きい。

MDプログラムでの達成目標、これまでの取り組み

- 医学研究科医学専攻 医学教育学分野**  
香川直輝さん (医学部6年)
- 歯学研究科歯学専攻 口腔生化学分野**  
四宮寛大さん (令和4年度歯学部卒業生)
- 薬学研究科薬学専攻 腫瘍細胞生物学分野**  
数井みのりさん (薬学部6年)

## MDプログラムの中で見えてきたもの

私がMDプログラムを初めて知ったのは、医学部3年の時でした。当時は、「大学院研究科(博士課程)」がキャリアに与える影響より、大学院の授業への興味から履修を決意しました。専攻は、良医を育成する学問であり身近な「医学教育学」を選択しました。大学院の授業は医学部より更に発展的で興味深く、新たな知見を広げる機会になっています。また、毎月開催される抄読会では、医学論文や成書(指導医のための医学教育学)を精読し、先生方と議論し、普段は学ぶことのできない医学教育に関する人文学的、社会科学的側面について新たな気づきを得ています。

このように大学院での学びを学生時代から先取りできる制度を積極的に利用することは将来、医師としての「研究マインド」の涵養に繋がると考えます。



毎月行われる抄読会(オンライン)の様子 Makiko Arima

## マルチドクタープログラムを修了して

私は大学入学前から再生医療や幹細胞に対して興味を抱いており、学生のうちから本格的な研究を学ぶことができるため、口腔生化学講座にてマルチドクタープログラムを履修いたしました。研究テーマとしては骨再生医療に用いる細胞ソースとして神経堤由来細胞に着眼して、条件の良い細胞の同定方法について研究を行いました。また国際歯科研究学会をはじめとする様々な場面で英語での研究発表を行わせていただいたことで、複雑な内容を相手に分かりやすく伝えるためにシンプルにする能力を訓練することができたと思います。卒業時には研究を評価いただき、大変名誉ある上條旗が岡賞を受賞することができ、光栄に思います。

末筆となりましたが、生前いつも温かくご指導していただきました、故上條竜太郎教授にこの場をお借りして心より感謝いたします。

卒業式にて上條旗が岡賞を受賞、山田篤准教授と



## 最新の医療を学ぶ機会が大きな刺激になりました

私がMDプログラムを希望した理由は、現在着目されている医療分野を知ることで研究に対する関心を高めたいと思ったからです。

実際に受講してみて、専門的な知識が必要とされ難しいところもありましたがそれだけ得られたことも多くありました。

研究に関する基本的なことに理解を深めるだけでなく、最新の医療について学ぶ機会もあり、とても刺激になりました。また、研究を始めたきっかけや目的を知ることで今後の研究課題を見つける際に役にたいたと思います。

医療は大きな進歩を遂げてきましたが、難しい課題が多く残されています。まだ学生ですが、将来は研究を通して患者さんにとってより良い医療を提供できるよう貢献したいと考えています。

研究室での実験の様子

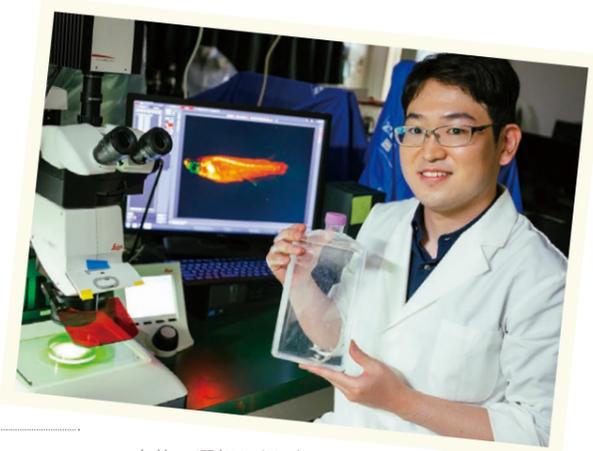


interview

歯学部4年からMDプログラムを履修 高橋夏大さん

## 新しい発見の連続で毎日が充実していました

2019年4月に歯学部4年からマルチドクター(MD)プログラムの履修を開始した高橋夏大さん(大学院歯学研究科2年)は学部の選択授業で興味を持ったテーマを、同プログラムを通じて追究し、原著論文として結実させた。高橋さんの夢は基礎研究だけにとどまらず、臨床分野へと広がっている。



高橋さんの修学ステップ

- 2016年度 歯学部1年
- 2017年度 歯学部2年  
「研究入門(歯科薬理学講座)」でメダカを使った研究に注目(「薬剤投与による骨形成および破骨細胞への作用解析」成績優秀賞)
- 2018年度 歯学部3年  
「研究入門(歯科理工学講座)」履修(「歯科材料の基本的特性の解析」成績優秀賞)
- 2019年度 歯学部4年  
マルチドクタープログラム(歯科薬理学分野)履修開始
- 2020年度 歯学部5年  
マルチドクタープログラム履修継続、歯学部特別奨学生
- 2021年度 歯学部6年  
メダカを用いた実験で重力と硬組織形成の関係を探る。「通常重力環境・疑似微小重力環境・加重重力環境で飼育したメダカ稚魚の骨形成変化の研究」の原著論文 Investigation of osteogenesis changes in medaka larvae reared in normal gravity, simulated-microgravity and hypergravity environments. *Biological Sciences in Space*, 35:24-31. (2021) を発表し、国際歯科学士会「ICDアワード」受賞
- 2022年度 歯学研究科1年  
昭和大学歯科病院で歯科医師臨床研修
- 2023年度 歯学研究科2年  
臨床：昭和大学歯科病院歯科連携診療歯科  
研究：歯科薬理学分野、メダカを用いた研究を継続

—MDプログラムを履修した動機は。  
高橋 歯学部2年の時に選択した研究入門「歯科薬理学講座」のメダカを用いた実験で骨芽細胞と破骨細胞が増殖していく様子を観察し、感動しました。生体内での細胞の動きをリアルタイムで追いながら、生命現象を解明することに意欲がわき、MDプログラムを履修することにしました。

—MDプログラムで打ち込んだテーマは。  
高橋 選択した歯科薬理学分野ではメダカを用いた宇宙実験の実績がありました。私は歯や骨などの硬組織に興味があったので、重力が骨代謝に作用するメカニズムを研究テーマにしました。指導教官とアイデアを出し合いながら実験を繰り返しました。その結果、メダカに5Gの荷重をかけると、歯や下顎骨の石灰化が促進され、さらにヒレの角度が変わることなどを突き止めました。研究内容を原著論文としてまとめることができました。

—学部と大学院のカリキュラムを並行して履修するのは大変だったのでは。

高橋 私は大学院への進学を希望していたので、同プログラムでは最初の1年で講義を集

中のに選択しました。2年目は実験を中心にしましたが、5年の臨床実習もあり、忙しい毎日でした。6年になると、歯科医師国家試験の勉強も加わりました。夜遅くまで実験室にいる日が続きましたが、常に新しい発見があり、毎日が充実していました。

—MDプログラムの魅力は。  
高橋 一番のメリットは大学院の授業や研究を学部生のうちから始められることです。研究

の基礎を早くから学ぶことができます。自主的に時間を組めるのも同プログラムのメリットで、時には大学院生と一緒に講義を聞き、大いに刺激を受けました。時間を有効に使うなど、自己管理しながらなんとか学部と大学院のカリキュラムをこなせたと思います。同プログラムは、将来大学院への進学を検討している人、大学院入学後に研究をスムーズに進めたい人、また基礎研究に興味のある人などにはお勧めです。授業料は50,000円で、諸費用を含めて80,000円で最長3年間履修できるのも魅力です。

—今後の進路は。  
高橋 遺伝子改変メダカやノックアウトメダカを作成し、重力の変化が遺伝子に及ぼす影響などについて研究を進めていきたいです。将来、骨粗鬆症の発症メカニズムにおける重力、過重負荷の関連が解明されれば、新しい治療法の開発につながる可能性もあります。また、昨年、臨床研修医として歯科診療にも携わり、臨床の醍醐味を知ることができました。さらに知識とスキルを磨き歯科医療に貢献していきたいと考えています。



忙しい毎日でも張り詰めた心を癒してくれるメダカ(歯科薬理学講座の研究室)。「MDプログラムで研究の楽しさを知りました」と話す高橋さん

取材・構成 宇佐美 拓恵 「撮影」ダイヤモンド・グラフィック社

学内アルバイトで

# 新しい私、 新しい一歩

学生たちの  
リアルな声を紹介

学内施設でアルバイトをする学生たちにいろいろ語ってもらいました。

学業と両立しやすいだけでなく、研究に役立ったり、

病院の現場がわかったり、人間的に成長できたり…。

毎日充実した学生生活を送っている様子が伝わってきます。



図書館

医学部6年  
櫻井 郁宏さん

## 文献を的確に探せる スキルを身につけて

私が図書館のアルバイトを選んだきっかけは、部活動の先輩に誘われたことでした。すでに飲食系のアルバイト経験があり、将来経験できないであろう図書館の仕事や本の分類など知らないことを知る良い機会になると考え、応募しました。実習が延びて出勤が遅れることになっても、融通を利かしてくれるのが高学年になってからとても助かっています。

利用者から「この本、どこにありますか？」と尋ねられ、見つけることができた時にやりがいを感じます。このアルバイトをするまでは図書館内の本の配置を把握していなかったこともあり、



そんな利用者の気持ちもわかるので、お探しの本を見つけた時はなおさら嬉しく思います。

アルバイトをする際に心掛けていることは基本的なことですが、カウンター対応時に明るくハキハキと話すようにしています。わからないことがあれば、すぐにマニュアルを参照します。また閉館作業は学生だけで行うので、細心の注意を払っています。

このアルバイトのおかげで初めての業務を経験でき、本の配架場所を把握できるようになりました。特に文献を的確に検索できるようになったことは、臨床実習に出るから非常に役立っています。



貸出や電話対応などがまとめられたマニュアルです。これがあれば安心できる心強い存在です。



病院薬剤部

薬学部5年  
富塚 稚菜さん

my buddy



メモ帳です。一人で業務を行う時のお守りのような存在で、新しい業務の際に必ずメモを取ります。

## “人生の財産”となる 現場の知識と薬剤師との人脈

私の中で病院という存在が身近ではなかったため、純粋にこのアルバイトに興味がありました。将来、病院薬剤師になりたいという思いも強く抱いていたので、この環境でアルバイトができるのは一石二鳥だと思いました。

2年生の頃から薬剤師に交じりながら普段は先生方が行っている簡単な業務にも携われ、薬剤師の模擬体験ができます。憧れの薬剤師の力になれていることや、自分がピッキングした医薬品が患者さんの手元に届いていると思うとこれ以上のやりがいはないと感じています。

業務の際は“ほうれんそう”を確実に行うことを心掛けています。置きっぱなし・やりっぱなしでは先生方が気が付かない時もあります。そのため

に出して報告したり、メモを残したりしています。わからないことがあったら先輩アルバイトに聞いたり、先生方に相談したりして、わからないままにしないようにしています。

病院薬剤師の業務や医薬品についての知識はもちろん、他では決して広がることのない薬剤師の方々との人脈も得ることができました。どれも全て得ようとして得たものではなく、アルバイトをしている中で自然と身に付いたものです。こんなにも“人生の財産”を一度に得ることができるアルバイトは他にないと思います！心の底からおすすめしたいです！

そのために声に出して報告したり、メモを残したりしています。わからないことがあったら先輩アルバイトに聞いたり、先生方に相談したりして、わからないままにしないようにしています。



## たくさんの出会いが 自分の視野を広げてくれる

入学してから昭和大学の歴史について学びたいと思っていましたが、きっかけがありませんでした。そんな中、上條記念ミュージアムがアルバイトの募集をしていることを知り、この機会に大学を知ることができると思い、応募しました。また学業と両立しやすく、自分のペースで働けるので学内のアルバイトを選びました。

大学の歴史を学びながら、たくさんの人と交流できるのがこのアルバイトの一番の魅力です。これまで多くの方をご案内しましたが、卒業生は新たな発見に驚き、初めて

昭和大学の歴史に触れる方は大学への関心が高まるなど色々な感想をいただきました。様々な方にご満足いただけるよう日々、館長はじめスタッフと話し合っています。

上條記念ミュージアムには大学の歴史を象徴する貴重な展示物が数多くあり、見学者の方々にご覧いただけることを知ってほしいと思っています。そのために試行錯誤しながら、より良いミュージアムにしていけるよう心掛けています。

コロナ禍で人と直接関わるのが難しい日々が続きましたが、このアルバイトを通して多くの方とコミュニケーションを取ることができました。ここでは医療従事者にとって大切なコミュニケーション能力を向上させるだけでなく、自分の視野を広げることもでき、とても貴重な経験をしています。



上條記念ミュージアム

薬学部5年  
西村 未来さん

my buddy



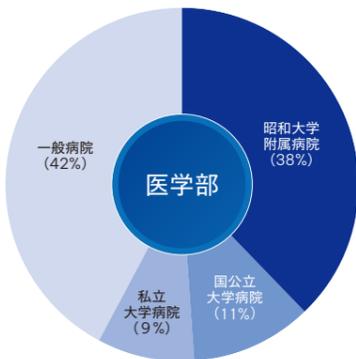
受付時にお渡しするミュージアム特製のしおりです。しおりのリボンは学生アルバイトが手作業で付けています。



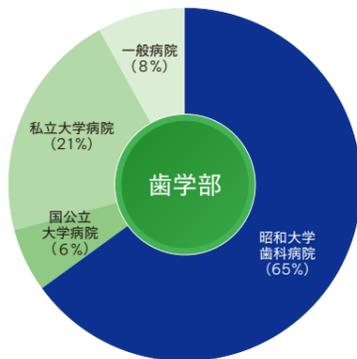
令和4年度

## 卒業生の進路状況

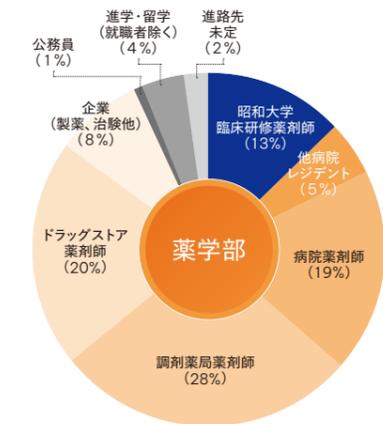
令和4年度昭和大学医・歯・薬・保健医療学部を卒業した学生を対象に実施した進路先調査の結果。例年と同様、国家資格を活かした医療機関への就職の他、教育・研究や後進指導を視野に入れた進路選択が傾向として顕著に見られた。



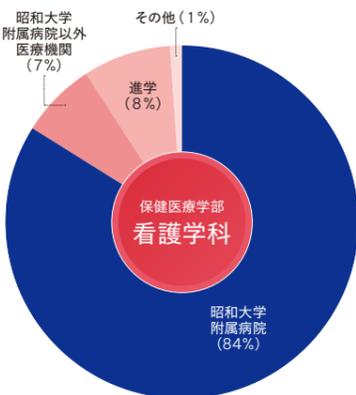
**【主な研修先】**  
昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院、東京大学医学部附属病院、千葉大学医学部附属病院、長崎大学病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、自治医科大学附属病院、川崎市立川崎病院、独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院、国家公務員共済組合連合会 虎の門病院、IMSグループ 医療法人社団 明芳会 板橋中央総合病院、JA長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター、医療法人徳洲会 千葉西総合病院 他



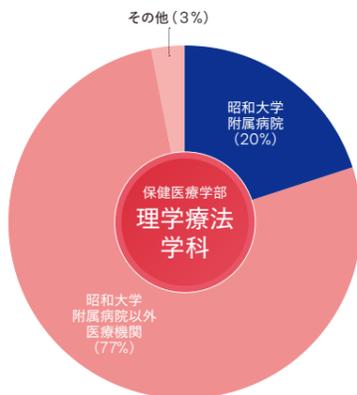
**【主な研修先】**  
昭和大学歯科病院、東京医科歯科大学病院、国立大学法人大阪大学 歯学部附属病院、国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学医学部附属病院、神奈川県立大学附属横浜クリニック、学校法人慶應義塾 慶応義塾大学病院、鶴見大学歯学部附属病院、日本大学歯学部附属歯科病院、明海大学歯学部附属明海大学病院、医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院、医療法人鉄蕉会 亀田総合病院、医療法人財団 聖蹟会 埼玉県中央病院 他



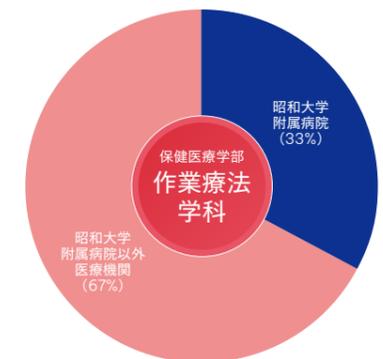
**【主な就職先・進路先】**  
病院 (レジデントを含む) …昭和大学臨床研修薬剤師、国立研究開発法人 国立がん研究センター 中央病院、聖路加国際病院、横浜市立大学附属病院、IMSグループ 医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院、地方独立行政法人 東京都立病院機構 他  
企業 (製薬・CRO 他) …(株)ソムラ、(株)中外製薬、(株)イーピーエス、(株)シミック 他  
調剤薬局・ドラッグストア…総合メディカル(株)、(株)アイセイ薬局、(株)アインホールディングス、日本調剤(株)、(株)クリエイティブ・ディー、ウエルシア薬局(株) 他  
公務員…群馬県庁  
進学…昭和大学大学院、島根大学 医学部 他



**【主な就職先・進路先】**  
昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院、JA北海道厚生連 帯広厚生病院、国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院、前橋赤十字病院、昭和大学助産学専攻科 他



**【主な就職先】**  
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院、昭和大学附属病院、医療法人社団 博慈会 青葉さわい病院、医療法人社団 総生会 麻生リハビリ総合病院、IMSグループ 医療法人社団 明芳会 板橋中央総合病院、公益財団法人 横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院、地方独立行政法人 東京都立病院機構 他



**【主な就職先】**  
昭和大学病院、昭和大学附属病院、IMSグループ 医療法人社団 明芳会 江田記念病院、社会医療法人河北医療財団 河北総合病院・河北リハビリテーション病院、医療法人財団健責会 総合東京病院、医療法人慶神会 武田病院、社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 他

令和4年度

## 私立大学等経常費補助金交付状況

日本私立学校振興・共済事業団は令和5年3月、私立の大学、短期大学、高等専門学校に交付する令和4年度の経常費補助金が、2,980億746万4千円になると発表した。私立大学等経常費補助金は、①私立大学等 (私立の大学・短期大学・高等専門学校) の教

育研究条件の維持向上、②学生の修学上の経済的負担の軽減、③私立大学等の経営の健全性向上に資するため、日本私立学校振興・共済事業団が国から補助金の交付を受け、これを財源として全額、学校法人に対して設置学校の経常的経費について補助するもの。この補助金には、各学校における教職員数や学生数等に所定の単価を乗じて得た基準額を教育研究条件の状況に応じ傾斜配分する「一般補助」と、教育研究に関する特色ある取組に応じ配分する「特別補助」がある。令和4年度は、大学583校、短期大学270校、高等専門学校2校の計855校に交付され、本学は59億8,146万7千円 (前年比4億2,999万円増) と、大学では3番目に多い交付額だった。

| 順位 (前年)      | 大学名         | 一般補助             | 特別補助           | 補助金合計            |
|--------------|-------------|------------------|----------------|------------------|
| 1 (1)        | 早稲田大学       | 7,973,053        | 1,071,977      | 9,045,030        |
| 2 (2)        | 慶應義塾大学      | 7,773,259        | 623,172        | 8,396,431        |
| <b>3 (3)</b> | <b>昭和大学</b> | <b>5,737,084</b> | <b>244,383</b> | <b>5,981,467</b> |
| 4 (4)        | 立命館大学       | 5,502,547        | 464,274        | 5,966,821        |
| 5 (6)        | 順天堂大学       | 5,252,085        | 485,073        | 5,737,158        |
| 6 (5)        | 東海大学        | 4,976,962        | 300,101        | 5,277,063        |
| 7 (7)        | 北里大学        | 3,834,304        | 315,981        | 4,150,285        |
| 8 (9)        | 近畿大学        | 3,792,177        | 340,742        | 4,132,919        |
| 9 (8)        | 福岡大学        | 3,447,628        | 204,888        | 3,652,516        |
| 10 (19)      | 東京理科大学      | 3,245,991        | 275,906        | 3,521,897        |
| 11 (11)      | 帝京大学        | 3,158,780        | 320,084        | 3,478,864        |
| 12 (12)      | 東京慈恵会医科大学   | 3,246,396        | 118,947        | 3,365,343        |
| 13 (10)      | 関西大学        | 2,919,791        | 431,774        | 3,351,565        |
| 14 (16)      | 藤田医科大学      | 2,986,435        | 119,333        | 3,105,768        |
| 15 (15)      | 法政大学        | 2,579,087        | 370,006        | 2,949,093        |

令和4年度

## 寄贈図書

本学関連図書館・図書室への著書ご寄贈を誠にありがとうございました。

| 寄贈者 (敬称略) | 資料                                |
|-----------|-----------------------------------|
| 佐藤 裕二     | よくわかる高齢者歯科学 第2版 (永末書店) 他          |
| 鈴木 慎太郎    | 教科書には書いていない! アレルギーのひ・み・つ (秀和システム) |
| 阪本 桂造     | ボディ・ナビゲーション 改訂第6版 (医道の日本社)        |
| 野村 恭也     | 耳科学アトラス 第5版 (丸善出版)                |

| 寄贈者 (敬称略) | 資料                                  |
|-----------|-------------------------------------|
| 木村 聡      | 薬の影響を考える臨床検査値ハンドブック 第4版 (じほう)       |
| 田中 大介     | 起立性調節障害 (OD) (健康ライブラリー イラスト版) (講談社) |
| 馬場 章      | 富士山噴火に備える (岩波書店)                    |

## 2023年度秋季・2024年度春季 大学院入学試験要項 決定

歯学研究科博士課程・薬学研究科博士課程・保健医療学研究科博士後期課程の入学定員増員

2023年度秋季・2024年度春季大学院入学試験要項を公開し、2023年度秋季・2024年度春季I期入試の出願がスタートした。昨年度からの変更点は、歯学研究科博士課程入学定員が18名から22名、薬学研究科博士課程の入学定員が12名から15名、保健医療学研究科博士後期課程の入学定員が4名から6名に変更となった。

※入学時期 秋季：2023年10月 春季I期・II期、春季：2024年4月

- ◆医学研究科 (博士課程募集人員：60名)
- ◆歯学研究科 (博士課程募集人員：22名)
- ◆薬学研究科 (博士課程募集人員：15名)

|                    | 秋季・春季I期                     | 春季II期                       |
|--------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 出願資格認定受付期間 (対象者のみ) | 2023年6月5日(月)～6月15日(木)       | 2023年12月4日(月)～12月14日(木)     |
| 出願期間               | 2023年7月21日(金)～8月4日(金) 13時まで | 2024年1月26日(金)～2月9日(金) 13時まで |
| 試験日                | 2023年8月19日(土)               | 2024年2月24日(土)               |
| 合格発表               | 2023年9月7日(木) 16時            | 2024年3月7日(木) 16時            |

- ◆保健医療学研究科 (募集人員 博士前期課程：20名、博士後期課程：6名)

|                    | 秋季                         | 春季                          |
|--------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 出願資格認定受付期間 (対象者のみ) | 2023年6月26日(月)～7月12日(木) 17時 | 2023年10月2日(月)～10月11日(木) 17時 |
| 出願期間               | 2023年7月24日(月)～8月16日(木) 17時 | 2023年10月10日(火)～11月1日(木) 17時 |
| 試験日                | 2023年8月26日(土)              | 2023年11月11日(土)              |
| 合格発表               | 2023年9月7日(木) 15時           | 2023年11月24日(金) 15時          |

# 学校法人昭和大学 決算の概要

令和4年度 学校法人昭和大学の決算は、令和5年5月16日の理事会で承認を頂き、同月26日の評議員会にて報告した。令和4年度も令和2年度以降継続しているコロナ禍の影響が大きく表れている。コロナ禍にあっても各附属病院は診療体制を維持するために最大限の努力を行いながら、積極的に感染患者を受け入れた結果、医療収入は予算を達成することができた。教育環境を整備すべく、旗の台キャンパスの校舎の耐震補強工事を進めた。附属病院の診療環境の整備においては、昭和大学病院の入院棟17階

## 1. 資金収支について

資金収支は、法人の諸活動に対応する、資金の動きを伴う全ての収入支出の内容を示しております。当年度の資金収入は1,425億3,750万円（前年度繰越支払資金を除く）、資金支出は1,377億5,570万円（翌年度繰越支払資金を除く）で、支払資金は47億8,180万円の増加となりました。

収入の部の主要科目について予算と比較すると、学生生徒等納付金収入が7,949万円の減額、手数料収入が8,446万円の減額、寄付金収入が1,448万円の減額となりました。補助金収入は新型コロナウイルス感染対策の補助金が前年度より37億円減額となりましたが、引き続き交付されたことにより予算と比べて4億5,496万円の増額となりました。付随事業・収益事業収入は1億3,216万円の増額、医療収入は31億9,507万円の増額、雑収入は4億2,671万円の増額でした。

支出の部の主要科目について予算と比べると、人件費支出が3,284万円の減額で執行率は99.9%、教育研究経費支出が5億5,679万円の増額で執行率は100.9%となりました。この教育研究経費の中で大きな比重を占める、薬品費支出・医療材料費支出・給食材料費支出・医療委託費支出からなる「直接医療経費」は医療収入の36.2%でした。管理経費支出は13億9,589万円の増額で執行率は123.3%となりました。また、土地、建物等の施設関係支出は予算に比べて2億2,723万円の増額で執行率は104.9%、教育研究用機器備品、図書などの設備関係支出は3億677万円の減額で執行率は92.7%となりました。これら以外の科目では借入金等返済支出、資産運用支出等があります。

## 2. 事業活動収支について

事業活動収支は企業会計の損益計算に近いもので収支均衡状態を測定し、経営状況を明らかにするものです。諸活動の収入を合算した事業活動収入の合計は1,352億5,892万円となり、予算より41億1,456万円の増額となりました。科目ごとの金額は資金収支と重複しますので主要科目の構成割合を示します。学生生徒等納付金は7.0%、

のレストラン跡に特別病棟を開設し、直通のエレベーターを新設した。また昭和大学病院の集中治療室（支援センター）と各附属病院の集中治療室をネットワークで接続し、支援センターの集中治療専門医が遠隔で病状変化や治療評価を行いながら支援するeICU（遠隔集中支援システム）を江東豊洲病院に続き藤が丘病院・横浜市北部病院にも導入した。外部資金の獲得は、私立大学等経常費補助金の交付額が前年度同様に全国3位を維持した。

## 令和4年度 資金収支計算書

| 収入の部        |                 | 支出の部      |                 |
|-------------|-----------------|-----------|-----------------|
| 科目          | 金額              | 科目        | 金額              |
| 学生生徒等納付金収入  | 9,432,750,000   | 人件費支出     | 52,575,457,186  |
| 手数料収入       | 378,760,940     | 教育研究経費支出  | 59,490,469,864  |
| 寄付金収入       | 809,640,874     | 管理経費支出    | 7,379,816,384   |
| 補助金収入       | 12,061,603,039  | 借入金等利息支出  | 160,622,682     |
| 資産売却収入      | 1,659,157,048   | 借入金等返済支出  | 2,187,920,000   |
| 付随事業・収益事業収入 | 2,058,502,349   | 施設関係支出    | 4,829,020,137   |
| 医療収入        | 107,583,347,890 | 設備関係支出    | 3,923,604,555   |
| 受取利息・配当金収入  | 245,463,941     | 資産運用支出    | 10,247,716,041  |
| 雑収入         | 2,607,665,915   | その他の支出    | 11,309,591,531  |
| 借入金等収入      | 150,000,000     |           |                 |
| 前受金収入       | 1,987,933,570   |           |                 |
| その他の収入      | 27,474,475,100  |           |                 |
| 資金収入調整勘定    | △23,911,744,301 | 資金支出調整勘定  | △14,348,496,920 |
| 前年度繰越支払資金   | 31,174,811,356  | 翌年度繰越支払資金 | 35,956,646,261  |
| 収入の部合計      | 173,712,367,721 | 支出の部合計    | 173,712,367,721 |

## 令和4年度 事業活動収支計算書

| 教育活動収支      |                 | 特別収支          |                  |
|-------------|-----------------|---------------|------------------|
| 事業活動収入の部    |                 | 事業活動収入の部      |                  |
| 学生生徒等納付金    | 9,432,750,000   | 資産売却差額        | 0                |
| 手数料         | 378,760,940     | その他の特別収入      | 1,106,636,968    |
| 寄付金         | 648,730,731     | 特別収入計         | 1,106,636,968    |
| 経常費等補助金     | 11,233,260,527  | 事業活動支出の部      |                  |
| 付随事業収入      | 1,976,827,756   | 資産処分差額        | 38,707,779       |
| 医療収入        | 107,583,347,890 | その他の特別支出      | 22,131,956       |
| 雑収入         | 2,571,465,264   | 特別支出計         | 60,839,735       |
| 教育活動収入計     | 133,825,143,108 | 特別収支差額        | 1,045,797,233    |
| 事業活動支出の部    |                 | 基本金組入前当年度収支差額 | 7,881,563,241    |
| 人件費         | 52,700,652,743  | 基本金組入額合計      | △8,493,156,835   |
| 教育研究経費      | 66,432,319,025  | 当年度収支差額       | △611,593,594     |
| 管理経費        | 7,992,546,053   | 前年度繰越収支差額     | △105,295,570,833 |
| 徴収不能額等      | 30,375,131      | 翌年度繰越収支差額     | △105,907,164,427 |
| 教育活動支出計     | 127,155,892,952 |               |                  |
| 教育活動収支差額    | 6,669,250,156   |               |                  |
| 教育活動外収支     |                 |               |                  |
| 事業活動収入の部    |                 |               |                  |
| 受取利息・配当金    | 245,463,941     |               |                  |
| その他の教育活動外収入 | 81,674,593      |               |                  |
| 教育活動外収入計    | 327,138,534     |               |                  |
| 事業活動支出の部    |                 |               |                  |
| 借入金等利息      | 160,622,682     |               |                  |
| その他の教育活動外支出 | 0               |               |                  |
| 教育活動外支出計    | 160,622,682     |               |                  |
| 教育活動外収支差額   | 166,515,852     |               |                  |
| 経常収支差額      | 6,835,766,008   |               |                  |

経常費等補助金は8.3%、医療収入は79.5%となりました。一方、事業活動支出の部合計は1,273億7,736万円となり、支出合計は予算より14億2,125万円の増額となりました。人件費は41.4%、

教育研究経費は52.2%、管理経費は6.3%となりました。なお、資金の動きを伴わない退職給与引当金繰入額18億4,785万円が人件費に、減価償却額75億8,656万円が教育研究経費と管理経費に含まれています。新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者に対してご支援いただきました医療資材等も資金の動きを伴わない現物寄付として750万円が計上されています。基本金組入前当年度収支差額は、78億8,156万円の収入超過、黒字となり、事業活動収支差額比率は5.8%となりました。基本金組入額84億9,316万円を引いた当年度収支差額は、6億1,160万円の支出超過となりました。

## 3. 貸借対照表について

令和5年3月31日現在の財産状況を示しております。固定資産（土地・建物・機器備品・特定資産他）と流動資産（現金預金・未収入金他）の資産の部合計は2,527億8,487万円で、前年度末と比べて107億3,365万円の増加となりました。主な変動要因として、有形固定資産では武蔵小山寮等を民間への賃貸に転用し収益事業会計へ移管したことから土地が25億3,450万円、建物が2億3,578万円の減少となりました。特定資産は将来構想を実現するための積立金として附属病院の協力を得て7種類の特定資産に74億2,000万円を繰り入れましたが、一部の特定資産を取り崩した結果54億8,335万円の増加となりました。学内預金制度の資金は学内預金引当特定資産として、支払資金と区分して

## 貸借対照表

| 資産の部     |                 | 負債の部        |                  |
|----------|-----------------|-------------|------------------|
| 固定資産     | 194,323,351,027 | 固定負債        | 27,252,434,990   |
| 有形固定資産   | 146,679,170,011 | 流動負債        | 21,002,680,004   |
| 特定資産     | 36,894,228,050  | 負債の部合計      | 48,255,114,994   |
| その他の固定資産 | 10,749,952,966  | 純資産の部       |                  |
| 流動資産     | 58,461,520,276  | 基本金         | 310,436,920,736  |
|          |                 | 繰越収支差額      | △105,907,164,427 |
|          |                 | 純資産の部合計     | 204,529,756,309  |
| 資産の部合計   | 252,784,871,303 | 負債及び純資産の部合計 | 252,784,871,303  |

保全管理し、9億7,237万円の増加となりました。支払資金にあたる現金預金は47億8,180万円の増加となりました。一方、固定負債（長期借入金・退職給与引当金他）と流動負債（短期借入金・未払金他）の負債の部合計は482億5,511万円で、前年度末と比べて28億5,209万円の増加となりました。借入金は21億8,792万円を返済して減少しましたが、未払金と学内預金預り金が増加したことが負債増加の要因です。現金預金・特定資産等の資産も同額増加しておりますので、負債のみが増加したわけではありません。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた「正味財産」は2,045億2,976万円で、前年度より78億8,156万円の増加となりました。

※本学は財務情報の公開の一端として、当法人の「利害関係者」に財務諸表等の閲覧を行います。また、昭和大学ホームページにも財務諸表を公開します。  
※当法人の財務諸表は、学校法人会計基準に則って作成しており、補助金交付の表示区分となっております。

(財務担当理事 中村 明弘)

# 科学研究費助成事業 交付内定

令和5年度の科学研究費助成事業の交付が内定し、本学は昨年度より12件多い325件が採択され、総計で3億7,763万円が交付される。同事業は、人文学・社会科学から自然科学までのすべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的としており、研究者の審査・評価を経て、採択課題が選定される。交付内定の各内訳は右のとおり。

令和5年度 総計 325件 377,632,532円

| 学部・研究所別内訳    | 件数  | 金額(円)       | 研究種目別内訳                 | 件数  | 金額(円)       |
|--------------|-----|-------------|-------------------------|-----|-------------|
| 医学部          | 136 | 170,255,205 | 学術変革領域研究(A)             | 1   | 20,000,000  |
| 歯学部          | 89  | 94,900,000  | 基盤研究(B)                 | 12  | 47,300,000  |
| 薬学部          | 40  | 46,940,000  | 基盤研究(C)                 | 197 | 187,140,000 |
| 保健医療学部       | 32  | 27,400,000  | 挑戦的研究(萌芽)               | 2   | 3,800,000   |
| 富士吉田教育部      | 4   | 2,500,000   | 若手研究(B)                 | 1   | 0           |
| 臨床薬理研究所      | 8   | 14,637,327  | 若手研究                    | 101 | 96,892,532  |
| 先端がん治療研究所    | 5   | 8,300,000   | 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A)) | 3   | 11,900,000  |
| 発達障害医療研究所    | 5   | 5,900,000   |                         |     |             |
| 富士山麓自然・生物研究所 | 1   | 1,400,000   | 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)) | 1   | 2,900,000   |
| 保健管理センター     | 1   | 1,100,000   |                         |     |             |
| 国際交流センター     | 1   | 800,000     | 研究活動スタート支援              | 7   | 7,700,000   |
| 統括研究推進センター   | 1   | 700,000     |                         |     |             |
| 法人本部         | 2   | 2,800,000   |                         |     |             |

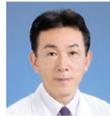
※1:研究中断に伴う継続課題のため、今年度の配分金無し  
※2:研究開始年度に全額入金有り

# 学内会議報告



## 就任のお知らせ(3月24日臨時理事会承認)

医学部内科学講座(消化器内科学部門)担当 教授(員外)  
[勤務地: 昭和大病院内視鏡センター]



### 山村 冬彦

医学部内科学講座(消化器内科学部門)担当 准教授  
[勤務地: 昭和大病院内視鏡センター]  
任命日: 令和5年4月1日

昭和大病院内視鏡センター長

[勤務地: 昭和大病院内視鏡センター(小児科)]



### 宮谷 太朗

医学部小児科学講座(小児内科学部門)担当 准教授  
[勤務地: 昭和大病院内視鏡センター]  
任命日: 令和5年4月1日

昭和大病院内視鏡センター(消化器外科)診療科長

[勤務地: 昭和大病院内視鏡センター(消化器外科)]



### 出口 義雄

医学部外科学講座(消化器一般外科)担当 准教授  
[勤務地: 昭和大病院内視鏡センター(消化器外科)]  
任命日: 令和5年4月1日

## 就任のお知らせ(5月16日理事会承認)

昭和大病院内視鏡センター長



### 中尾 睦宏

国際医療福祉大学医学部心療内科学 教授  
昭和大病院内視鏡センター 客員教授  
任期: 割愛日~令和8年3月31日

教授

[勤務地: 昭和大病院内視鏡センター]



### 中尾 睦宏

国際医療福祉大学医学部心療内科学 教授  
昭和大病院内視鏡センター 客員教授  
任命日: 割愛日

昭和大病院内視鏡センター(消化器)診療科長

[勤務地: 昭和大病院内視鏡センター(消化器・一般外科)]



### 田中 邦哉

医学部外科学講座(消化器一般外科)担当 教授  
[勤務地: 昭和大病院内視鏡センター(消化器・一般外科)]  
任命日: 令和5年4月1日  
※消化器センター長と兼務

## 理事会関係

### ◆昭和大病院内視鏡センター設置

【設置目的】 ストレスマネジメントに関わる最先端の研究を通して、  
ストレスマネジメントによる疾病予防と重症化予防の費用対効果を  
明らかにし、日本におけるセルフケアの推進に寄与するため。

【設置日】 令和5年10月1日

【場所】 旗の台校舎

【研究所長】 中尾 睦宏

国際医療福祉大学医学部心療内科学 教授

客員教授(昭和大病院内視鏡センター)

### ◆特許権に係る実施補償金支給

- 【発明の名称】 ①医療用姿勢保持用具(伏臥位用)  
②医療用姿勢保持用具(脳外科用)  
③頭部支持用具

【実施料収入】 324,975円

※本研究に関する特許権を使用した対価として、日本メディカル  
プロダクツ株式会社から昭和大病院内視鏡センターへ支払われた金額。

【実施補償金(分配割合)】 大学(60%): 194,985円、  
発明人(40%): 129,990円

### ◆令和5年度 学生数(令和5年5月1日現在)

学部 3,139名、大学院 570名、  
助産学専攻科 14名、看護専門学校 454名 合計 4,177名

### ◆令和5年度 昭和大病院内視鏡センター・歯学部・薬学部特別奨学生数

医学部 15名、歯学部 4名、薬学部 7名 合計 26名

### ◆令和5年度 昭和大病院内視鏡センター奨学生採用数

医学部 15名、歯学部 9名、薬学部 9名、保健医療学部 9名  
合計 42名

### ◆監事監査報告

会計監査、教学監査、業務監査、理事の業務執行状況監査の結果、  
経営・運営全般において問題は無いことを確認した。

### ◆新型コロナウイルス感染症に関する対応

久光学長から、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の「2類  
相当」から「5類」に移行したことに伴い、病院実習はレッドゾ  
ーン以外であれば実施可としたことや、図書館・学生ホールの座  
席数をコロナ禍前に戻したことなど、授業実施や学内施設利用に  
関して運用を改めた旨の報告がなされた。

## 学務関係

### ◆教育研修棟2階研修室の名称変更と規程等の制定

【名称】 変更前: 研修室

変更後: シミュレーションセンター

【規程・規則】 シミュレーションセンター規程  
シミュレーションセンター使用規則

【施行日】 令和5年4月1日

※この規則の施行日をもって、医学部OSCE スキルス・ラボ規程  
および同使用細則は廃止。

### ◆令和3年度採用 臨床研修医進路先

【修了研修医】 97名

【進路先】 昭和大病院内視鏡センター 68名、本学以外の病院・クリニック  
22名、その他 7名(昭和大病院内視鏡センター大学院生 5名含む)

### ◆令和5年度 臨床研修医採用者数

【採用者数】 93名

【内訳】 昭和大病院内視鏡センター 34名、藤が丘病院 24名、横浜市北部病  
院 22名、江東豊洲病院 13名

### ◆令和5年度 専攻医採用者数 ※カッコ内は助教(医科)の人数

【採用者数】 166名(159名)

【内訳】 昭和大病院内視鏡センター 77名(71名)、藤が丘病院 33名(33名)、  
藤が丘リハビリテーション病院 3名(3名)、横浜市北部  
病院 29名(29名)、江東豊洲病院 18名(18名)、鳥山  
病院 5名(5名)、連携施設から研修開始 1名(0名)

お気軽にご相談を!!

- ◆ 万が一のための保障準備
- ◆ 住宅ローン・資産運用 など

お問い合わせ・ご予約は  
三井住友銀行 旗ノ台支店  
東京都品川区旗の台1-4-15  
TEL. 03-3785-3012

SMBC

日本調剤

全国に広がる、日本調剤のネットワーク。

日本調剤株式会社(本社: 東京都千代田区丸の内、東証プライム市場上場)は、  
全国 47 都道府県で 700 以上の調剤薬局を展開している企業です。

昭友商事株式会社

昭和大病院内視鏡センターの皆さまへ  
便利なサービス・商品を提供します!

- 昭和大病院内視鏡センターの天然水
- イベント業務委託
- 昭和大病院内視鏡センターオリジナルワイン
- ローソン&タリーズ
- QUOカード・VJAギフトカードなど
- その他色々!

お気軽にお問い合わせください! ☎ 3784-8280

生協は学園生活のパートナーです

UNIV. CO-OP

昭和大病院内視鏡センター生活協同組合

旗の台: 3788-2322(内線)8268 アミ: 3785-9729(内線)8369  
吉田: 0555-23-8505 洗足: 3787-4432 横浜: 045-985-9624

詳細・更新情報は各部署へお問い合わせください。

## 人事部人権啓発推進課

### 人権啓発に関する トップメッセージの発信について



4月27日に開催された人権啓発推進委員会において、小口理事長名による人権啓発の更なる推進に向けたトップメッセージが発信され、学内ホームページや各施設等において配布・周知されました。

平素から、本学構成員の皆さんのご理解とご協力により、人権啓発に関する諸活動が推進されていることに、心より感謝申し上げます。

コロナ禍において幾多の困難に対峙する中、本学構成員であり医療人である皆さんが社会に貢献すべく、真摯な姿勢でその一つひとつにまごころを持って接し、丁寧かつ果敢に業務に臨んでこられた姿に触れ、改めてそのご尽力に敬意を表します。

昨年度の本学人権啓発推進に関する諸活動において、人権をより自分ごととして捉え、他者への感謝や思いやりの気持ちを表した人権啓発標語の募集に300件近い多数の応募が寄せられました。また、多様な価値観への理解をより一層深めるためのヒューマンライツ・トークショーを開催し、委託・派遣職員を含む全職員を必須対象として「心理的安全性」をテーマにeラーニング研修を実施するなど、様々な活動を実践してまいりました。他方、ハラスメント等に関する相談状況は、前年度と比較しても増加傾向が見られます。よって当該行為の抑止・牽制等の予防対策はもちろんのこと、再発防止に向けた学内各組織における更なる理解と実践が求められます。

今年度においても、引き続きコロナ禍での感染防止対策を図りながら、eラーニングを始め多様な啓発講習形式への取り組みや、リアルな形態での相談員研修会、多様な人権課題を捉えたヒューマンライツ・トークショーを継続して開催するなど、新たな時代に向けた人権啓発の積極的な活動を周知し、ハラスメントの撲滅を推進してまいります。

本学の教育・研究・診療に関わる全ての構成員が、引き続き人権啓発の更なる推進に向けて、より高い倫理観を持ち、互いの人格や尊厳、多様な価値観を尊重することを大切にしてください。そして、建学の精神である「至誠一貫」の下、常にまごころを持って相手の立場になって考え、日々研鑽を重ねながら、相協力してより良い就労・修学環境を築かれるよう、よろしくお願いたします。

令和5年4月27日  
理事長 小口 勝司

#### お問い合わせ 人事部人権啓発推進課

電話：03-3784-8963  
メール：soudan@ofc.showa-u.ac.jp

## ダイバーシティ&インクルージョン推進室

### ダイバーシティに関する 意識調査を実施しました

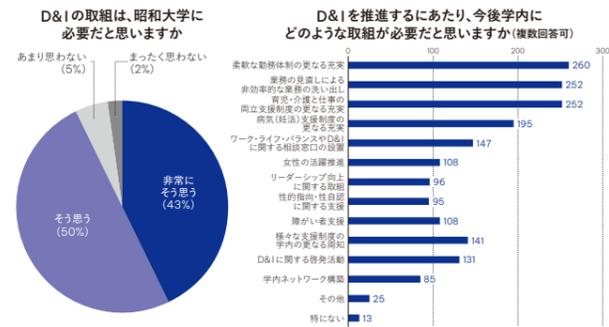
昭和大学で勤務する全ての方を対象として「本学のダイバーシティに関する意識調査」を実施しました。

たくさんのご協力、どうもありがとうございました。

いただいたご意見を参考に、ダイバーシティ&インクルージョン運営委員会を中心として、よりよい職場になるための取り組みを進めていきます。

※調査結果の詳細は、ダイバーシティ&インクルージョン推進室のホームページをご覧ください。

#### 調査結果（抜粋）



#### お問い合わせ ダイバーシティ&インクルージョン推進室

メール：div.incl@ofc.showa-u.ac.jp



## 人事部働き方改革担当

### 「医師の働き方改革」に関する 情報発信について

2024年4月より医師の時間外労働時間数が法律により規制され、医師の働き方改革が開始となります。

皆様の理解を深めていただき、働き方改革を推進していくために、学内の規程や情報誌、説明動画を掲載し、情報発信をしております。

今回は労働時間の定義について、説明動画を公開いたしましたので、ぜひご覧ください。

#### お問い合わせ 人事部働き方改革担当

電話：03-3784-8013  
メール：jinji-work@ofc.showa-u.ac.jp



## リカレントカレッジ事務局

### 令和5年度 昭和大学リカレントカレッジ 秋期プログラム受講生募集開始

7月3日(月)より令和5年度リカレントカレッジ秋期プログラム受講生の募集を開始しています。全40講座を取り揃えた秋期プログラムでは、オンライン講義や対面とオンラインを併用したハイブリッド講義もあり、ライフスタイルに合わせての受講が可能となっています。今回は10月開講講座をご紹介します。資料請求・講座申し込みはリカレントカレッジホームページをご覧ください。

#### 【10月開講】申込締切：2023年9月15日(金)

| プログラム名                                               | 講師(敬称略)   |
|------------------------------------------------------|-----------|
| 見て・触れて・作って学ぶ漢方薬～漢方薬・生薬入門～                            | 川添 和義     |
| 医療従事者は「今そこにある危機」にどのように対処すべきか～患者対応等をめぐる諸問題の解決の糸口をさぐる～ | 城 祐一郎     |
| 癒しを生活に取り入れてみませんか?～効果のある手軽なケアを看護・介護の視点から学びましょう～       | 田中 晶子 他   |
| 東京の庭園の魅力～歴史と美を愉しむ～                                   | 鈴木 誠      |
| 呼吸で変わるコミュニケーション力                                     | 政岡 ゆり 他   |
| 医療従事者のための英会話講座～基礎編～                                  | クリス・シリー 他 |
| 医師国家試験問題から見た我が国の医療                                   | 小風 暁      |
| ゲームとシミュレーションで学ぶ! フィジカルアセスメント                         | 川原 千香子 他  |
| オリンピックトレーナーが伝える 若々しく過ごすための運動習慣                       | 曾我 武史     |
| 命の現場から届ける「悔いない人生」を送る6つの秘訣～終末期の現場からみてきた幸福な人生とは?～      | 高宮 新之介 他  |
| 人工呼吸器管理のはじめの一步!                                      | 大滝 周 他    |
| CancerX ～がんと言われても動揺しない社会へ～                           | 糟谷 明範 他   |
| ケガをしなない体になろう ～スポーツ科学の活用法～                            | 田村 将希 他   |
| 歴史に隠れた病気を探る                                          | 小川 良雄     |
| あなたのここは健康ですか? ～こころの見方・癒し方～                           | 幸田 るみ子    |
| オリンピックトレーナーと整形外科医から学ぶ! 元気な身体を知る・作る・保つ                | 曾我 武史 他   |
| 宇宙教育のすすめ ～身近にある宇宙・天文技術の共有～                           | 和田 直樹     |
| 人生デザインのワンポイント～医療と美術から学ぶ～                             | 大滝 周 他    |
| 医療現場のデジタルトランスフォーメーションを考える～カルテを電子化してみよう～              | 中村 明央     |
| 薬剤師が教える市販薬の選び方・使い方～からだの仕組みと薬の効果を知る～                  | 杉山 恵理花 他  |
| 人生がハッピーになる 大人のためのオシッコ学                               | 小川 良雄 他   |
| 病氣平癒祈願と薬師如來像                                         | 小林 裕子     |
| 保険診療って何?入門篇 ～保険診療を理解する～                              | 飛田 真砂美    |
| 咳を鎮める御利益を求めて～宗教・民間信仰と医学・薬学に託された古のひとびとの苦悩と希望を探る～      | 鈴木 慎太郎 他  |
| 人生100年を有意義に過ごすための処方箋～健康と運動、栄養のサイエンス～                 | 蜂須 貢 他    |

※定員に達し次第、受付を終了いたします。

#### お問い合わせ 昭和大学リカレントカレッジ事務局

電話：03-3784-8143  
メール：recurrent@ofc.showa-u.ac.jp



リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。

## 昭和大学学生会

### 第32回昭和大学学生会シンポジウムのお知らせ

総合テーマ バイオメディカルサイエンスの最前線Ⅱ  
～プレミアム科研費採択者の研究戦略～

【会期】2023年8月26日(土)～9月25日(月)公開

【開催形式】オンデマンド配信

- もやもや病遺伝子のクローニングから機能解明へ  
森戸 大介 講師 昭和大学医学部生化学講座
- マウス熱中症モデルを用いた熱中症の病態解明と治療と予防法の開発～社会ニーズと社会貢献に適した研究戦略～  
土肥 謙二 教授 昭和大学医学部救急・災害医学講座
- 関節のバイオロジー～関節の恒常性を司る、滑膜と軟骨の連関制御機構の解明～  
矢野 文子 講師 昭和大学歯学部口腔生化学講座
- 高密度レクチンアレイを用いた腫瘍抗原における糖鎖構造の解明  
和田 聡 教授 昭和大学臨床薬理研究所 臨床腫瘍診断学部門

会期が近づきましたら、公開URLを昭和大学学生会ホームページにてご案内いたします。

#### お問い合わせ 昭和大学学生会

電話：03-3784-8074  
メール：gakushikai@ofc.showa-u.ac.jp



## アスリート支援事務局

### 2023シーズン始動!! 女子アイスホッケークラブ「ブルーウィンズ」

女子アイスホッケークラブ「ブルーウィンズ」は、昨シーズン、北海道札幌市月寒体育館にて開催された「第42回全日本女子アイスホッケー選手権大会(C)」にて優勝し、リーグ昇格を果たしました。今シーズンは、気持ちを新たに全日本(B)の舞台で試合に臨んでいきます。

試合日程やチームの最新情報は、公式ホームページ・facebook・Instagramにて随時発信しております!

今シーズンもチーム一丸となって前進していきますので、引き続き熱い応援を宜しくお願いいたします!!

【選手募集中!!】

BLUE WINDSでは、選手を募集しています。メールにてお気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ アスリート支援事務局

メール：blue-winds@ofc.showa-u.ac.jp



昭和大学第63回旗ヶ岡祭実行委員会

チャリティーバザー物品ご寄付のお願い

来たる10月14日(土)、15日(日)に、同日開催の第63回旗ヶ岡祭企画の一環として「第31回 昭和大学留学生医療支援バザー」が開催されます。

バザー物品は、例年ご父兄の皆様のご協力を中心となっております。

この売上は経費を除いて「留学生医療基金」に積立てられ、留学生の医療費の一部負担・国際交流会などに使われております。

今年も、皆様に物品ご寄付のご協力をお願い申し上げます。バザー用品のご寄付は、昭和大生活協同組合が窓口として受け付けております。

昭和大学第63回旗ヶ岡祭実行委員会  
委員長 菊地 晃平

※衣類、雑貨等は全て新品・未開封品あるいは新品同様の物に限定させていただきます。  
衣類の場合はクリーニング済のものも受け付けております。  
※食品は賞味期限が3ヶ月以上先のものでお願いいたします。  
※送料に関しては、お手数ですが発送者の方にご負担いただきますようお願い申し上げます。  
※感染症拡大により旗ヶ岡祭が中止になった場合、ご寄付いただいたものはこちらでリサイクルさせていただく形となりますので、ご了承ください。

【締切日】10月11日(水)

送付先 〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8

昭和大生活協同組合 バザー係

お問い合わせ 電話：03-3788-2322

メール：hatasai.soumukyoku@gmail.com

総務部

昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

【創立100周年に向けてへの寄付】

父母/丹下 真智子 様

同窓/片桐 敬 様 (医学部・35回生)

職員(50音順)/伊原 良明 様、唐沢 浩二 様、小林 真一 様、佐藤 昌子 様、嶋田 顕 様、高橋 良昌 様、久光 正 様、久光 直子 様、蜂須 貢 様、蜂須 玲子 様

一般/上野 洋一 様、株式会社城口研究所 様、株式会社ジェイ・シー・ティ 代表取締役 林 俊平 様、株式会社玉木工務店 様、有限会社富士コンビニエンスシステムズ 代表取締役 太田 敏夫 様

【教育研究協力資金への寄付】

父母/保坂 猛 様、森 靖夫 様

同窓/古屋 一 様 (医学部・62回生)

【昭和大学病院への寄付】

一般/アット・ファシリテラボ株式会社 代表取締役 宮本 純一 様、郭 滢 王 陽一 様

※収納期間：4月1日～5月31日

今号の表紙写真

昭和大学上條記念ミュージアムは、上條記念館内の地下2階に2019年に設立されました。かつて50年記念館の展示室にあった収蔵品・資料に加え、昭和大学の教育・研究・診療の歴史を振り返る様々な展示が行われています。

写真は常設展の冒頭で見られる富士吉田キャンパスの全景ジオラマです。熱心にのぞき込み、かつての寮生活に思いをはせる来館者の姿も見られます。

ミュージアムでアルバイトに取り組む学生の紹介はP19をご覧ください。



※2024年1月号(新年号)表紙写真の募集については9月号誌面に掲載いたします。

SHOWA UNIVERSITY NEWS vol. 5

July 2023  
昭和大学新聞 通巻第614号  
令和5年7月31日発行  
年6回発行



学校法人 昭和大学 (03) 3784-8000  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8

【本誌について】

発行人 | 小口 勝司

編集 | 総務課 大学広報係  
(03) 3784-8059  
press@ofc.showa-u.ac.jp

ご意見やご感想、各種情報をお待ちしています。

制作・印刷 | 株式会社ダイヤモンド・グラフィック社



【各種募金・寄付について】

企画課 | (03) 3784-8387

【学事について】

学務課 | (03) 3784-8022 (旗の台)  
(0555) 22-4403 (富士吉田)  
(045) 985-6503 (横浜)

大学院課 | (03) 3784-8793

入学支援課 | (03) 3784-8026